

「イイネ！」祭り オンライン表彰式

JPCOAR × JUSTICE

2024/11/22 16:00-

企画紹介

JPCOAR委員長

全投稿作品紹介

エントリー順 29作品

ご存知ですか？

公的資金による助成を受けた

研究成果論文の即時OA義務化

(2025年度新規公募分より)の基本方針が発表されました

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」 2024.2.16 内閣府統合イノベーション戦略

2024年10月

No.1 大阪大学 附属図書館学術情報整備課

義務化の対象は？

- ・対象の競争的研究費*を使用し、査読付きの電子ジャーナルに掲載された論文&Supplemental data

- *対象の研究費
- 2025年度以降、新規採択分
 - ・JSPS 科学研究費助成事業
 - ・JST 戦略的創造研究推進事業
 - ・AMED 戦略的創造研究推進事業
 - ・JST 創発的研究支援事業

オープンアクセス出版料を払ってOA化しなくてはならないの？

オープンアクセス化には主に2つの方法があります。

グリーンOA

機関リポジトリ・分野別リポジトリや個人HPなどで公開し、誰でも無料で本文にアクセスできるようにすること

*個人や研究室のHPは、OA義務化の公開元としては条件を満たさない可能性があります

ゴールドOA

出版社にOA料（APC）を支払ってOA論文として出版すること

大学の経費支援事業があります！

機関リポジトリOUKAならラクに無料でOA

附属図書館がサポートします！



研究者



図書館担当者



OUKA

- ・リポジトリ登録支援システムで公開用ファイルをアップロード
 - *システムで出版社の著作権ポリシー（公衆可能論文にチェック）を確認できます
 - *登録依頼はメールでもお受けします
- ・出版社の条件等を再確認、登録作業
- ・登録完了後、研究者にメールで通知
- ・誰でも無料で閲覧可能
- ・論文情報は各種データベースと連携し、成果の可視化を促進



スムーズなグリーンOA化のため、論文がアクセプトされた時点で共著者の同意取得・著者最終稿 (Accepted Manuscript) の準備をおすす



【機関リポジトリOUKAについての問合せ】
大阪大学附属図書館 学術情報整備課 電子コンテンツ部
TEL 06-6850-5071 (内線 番中5071・5819)
e-mail ouka@office.osaka-u.ac.jp



大阪大学のゴールドOA支援（2024年度）

APC：Article Processing Charge（OA出版料）の免除・割引を受けられる場合があります！

【転換契約】

Springer Nature
Wiley
Elsevier

大阪大学は、Springer Nature・Elsevier・Wileyと転換契約を結んでいます。転換契約はジャーナル購読料とOA出版料がセットとなった契約です。

大阪大学構成員が責任著者(WileyにおいてはResponsible Corresponding Author)であり、一定の条件を満たせば、APCの全額または一部が免除されます。
*大阪大学へ、転換契約利用に係る自己負担金（料率：15万円）を後者支払うことで、出版社へのAPCが不要となり、通常のAPCより安価にOA化できる仕組みです。

Springer Nature

対象：Springer, Adis, Palgrave Macmillan, Academic journals on nature.comのハイブリッド誌
対象ジャーナルの一覧は、Springer Nature社のサイト上のタイトルリストで確認できます。
注意：フルOA誌やNature関連誌は対象外



Springer Nature社
社内および学術情報整備課
のウェブサイト

Elsevier

対象：Elsevier社サイトの転換契約対象ジャーナルリストの"Eligibility"列で"Quota"と表示されているジャーナルが、転換契約の対象となります。
注意：フルOA誌や一部のハイブリッド誌は対象外



Elsevier社
大阪大学学術情報整備課
のホームページ

Wiley

対象：Wileyのハイブリッド誌およびフルOA誌
対象ジャーナルの一覧は、WileyのサイトのAPCリストで確認できます。
注意：フルOA誌の場合、2024年1月以降に投稿した論文が対象



Wiley社
Open Access Agreement
for authors at eligible
academic institutions

条件・申込方法は、マイハンダイ（学内者限定）「英語論文の投稿支援（2024年度後期）」に指針の募集要項・取扱説明書をご確認ください。

●対象ジャーナルに投稿された場合、出版社ウェブサイトで、責任著者の所属として大阪大学を選択し、転換契約によるオープンアクセスを希望と選択してください。その上で、上記の本学専ら管理下に記載されたオンラインフォームからお申し込みください。



【転換契約によるAPC免除等、投稿支援事業の問合せ】
研究推進部 研究企画課 研究企画係
(チャットボット) <https://tamochat.io/>*****

QR

Cambridge University Press (CUP)
Rockefeller University Press (RUP)
Royal Society of Chemistry (RSC)

出版社との契約により、大阪大学構成員が責任著者であれば、APCが無料になります。
*対象期間：対象ジャーナル・年間の適用論文の上限などの条件は、出版社ごとに異なります。

対象期間・ジャーナル・利用条件・申し込み方法等の詳細は
図書館webサイト「APC（オープンアクセス出版料）の免除・割引」をご覧ください。
ここに挙げていない出版社のAPC免除・割引情報も掲載しております。
附属図書館TOP>学術・研究支援>APC（オープンアクセス出版料）の免除・割引
<https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/apc/>



【APCの免除・割引の問合せ】
附属図書館 学術情報整備課
e-mail tosyoo-0a@ml.office.osaka-u.ac.jp

阪大_即時OA義務化に向けたOUKA登録・転換契約等のご案内 _202410.pptx

目的) OAに関する大学の支援の 認知向上のためのチラシ

備考)
“リポジトリ登録とAPC支援（特に転換契約）のアピールのために配布しているチラシです。”

研究発信力強化プロジェクト

1. APC支援特別プログラム

APC額の75%以上を大学が支援 ※

※支援率は雑誌によって異なり、75%より低い場合もあります

研究者のAPC（論文公開費用）負担は一定額のみで、残りの金額を大学が支援します。本学所属の研究者が責任著者である論文を、オープンアクセスにするために支払うAPCが支援対象となります。

実施期間：2025年3月31日まで（予算上限に達した場合は途中で終了することがあります）

利用方法や対象要件などの詳細はQRコードからアクセス（学内限定）→



2. 英語論文セミナー（Zoom/オンデマンド）

簡潔で効果的な論文を書く

質の高い論文を書くためにIMRAD（Introduction/Method/Results/Discussion）

構造をどのように活用できるか解説します。※日本語で開催します

プログラム（全6回 1セッション1時間）*1セッションのみの受講も可能です

日時	内容	日時	内容
①11/5 17:00-	若手向け	④11/12 17:00-	論文内容に特化
②11/8 16:00-	文系研究者向け	⑤11/13 16:00-	英語面に特化
③11/8 17:00-	理系研究者向け	⑥11/21 18:00-	上級向け

詳細はQRコードからアクセス→



3. Nature Masterclasses On-demand

研究スキルをスキマ時間で習得

「論文執筆/投稿」や「研究データ管理」など多数の教材を短時間（10分～）から受講可能です。Natureおよび関連誌の編集者らによる講習を、いつでもどこでも視聴できます。※英語での受講となります

利用期間：2025年3月31日まで

利用方法などの詳細はQRコードからアクセス→



No.2 信州大学 青木綾乃さん

2_APC支援・英語論文セミナー・NMOの広報 2024(信大・青木) .pptx

APC支援、英語論文セミナー、 Nature Masterclasses On-demandの広報

“「研究発信力強化プロジェクト」と銘打ち、研究者支援の取り組みをアピールするためのポスターです。”

No.3 一橋大学 匿名希望さん

オープンアクセスで
研究を世界へ

OAの
メリット

引用回数
の増加

共同研究
の促進

評価や
キャリア
の発展

社会への
還元

一橋大学は研究成果の**オープンアクセス**を支援します

本学は、Elsevier社・Springer Nature社との間で、電子ジャーナルの購読と論文のオープンアクセス出版を包括的に取り扱う契約（**転換契約**）を締結しました。本学が掲載公開料（APC : Article Processing Charge）を支援することで、著者はAPCの**定価よりも格安の経費負担**で自らの論文をオープンアクセスにすることが可能です。詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.lib.hit-u.ac.jp/about/seika/supportoa/>



3_APC支援(転換契約)周知用ポスター
(一橋・匿名).pdf

“APC支援制度（転換契約）の開始を広報するためのチラシです。”

BELL

<編集・発行>No.225 2022/10/24 発行
編集：一橋大学附属図書館
学術・図書館学術情報課
電話：042(580)8247
Mail：lib-contents@ad.hit-u.ac.jp



本学研究成果のオープンアクセス化を促進する

10/24(月)～30(日)は
オープンアクセスウィーク

学術研究とその普及をそれぞれの立場で担う、研究者、学生、大学・研究機関、学会、学術出版社の間で、オープンアクセスについての認識を共有し、その促進を図ることを目的として定められた国際的な週間です。

オープンアクセスって何？

インターネットを通じて研究成果を無料で公開し、世界の人が、対面なくこれを楽しめるようにすることです。学術雑誌の価格上昇により、入手困難となった学術情報を研究者の手に取り戻すことを目的としています。



今年のテーマは
Open for Climate
Justice

オープンアクセスの
メリットは？

論文を探す側には、無料で読めるというメリットがあります。研究者本人や所属機関の経済力に依らない、公正な学術環境を創出することができます。論文を公開する側にもメリットがあります。論文の可視性が向上することで論文の閲覧数が増加し、引用される可能性が高まります。

オープンアクセスにするには？

- ・著者が機関リポジトリで論文（多くは著者最終稿）を公開する。
- ・著者や団体が出版社に論文出版加工料（Article Processing Charge: APC）を支払う。

という方法があります。



一橋大学での
オープンアクセスの取組みは？

本学では、一橋大学オープンアクセスポリシーの下、機関リポジトリHERMES-IRにより、研究成果のインターネット上での無料公開を促進しています。本学に在籍する研究者や博士課程の大学院生は、学術雑誌掲載論文や博士論文などHERMES-IRに登録することができます。



[https://hermes-ir.lib-hit-u.ac.jp/ir/index.html](https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/ir/index.html)



世界の動きは？

近年では、研究データを含めた研究プロセスのデジタル化と共有を目指す「オープンサイエンス」が世界的な潮流となっています。研究機関等で、研究データの管理・公開に係るポリシーの策定、体制の検討、基盤の構築、検索サービスなどに対応することが求められています。



展示開催中！
10/24(月)～11/18(金)

図書館1階Yomoccaコーナーで
オープンアクセスの情報を紹介
しています。ぜひご覧ください。

★研究データをテーマに実施
した教員インタビューの内容は
裏面にあります！

No.4 一橋大学 匿名希望さん

4_2022年OAWの図書館広報誌 BELL
(No.225)(一橋・匿名).pdf

OAWに関する図書館の取り組みを紹介するための チラシ

“図書館広報誌で例年行っているOAW特集号の
2022年の内容（1ページのみ、2ページ目は教員イン
タビューのため削除）です。”

No.5 一橋大学 匿名希望さん

5_館内展示制作物のイラレファイル (一橋・匿名).ai

OAWに合わせた館内展示用に制作したパネルの 原稿

“昨年度行った館内展示では、不要になったアクリルパネルを再利用して展示物を作成しました。その時のアクリル板に貼付するステッカー用の原稿です。”

Open Access Week
10/23(月)～29(日)は
オープンアクセスウィーク

学術研究とその普及をそれぞれの立場で目指す、研究者、学生、大学・研究機関、学会、学術出版者の間でオープンアクセスについての認識を共有し、その促進を図ることを目的として定められた国際的な週間です。

**■一橋大学での
オープンアクセスの取組み**
一橋大学
オープンアクセス方針

平成29年10月19日に策定され、平成30年4月1日より実施されています。本方針は、大学の研究力を広く世界に発信し、学際的な研究イノベーションの創出を促し、その成果を社会に還元するため、研究成果を一橋大学機関リポジトリに収録されたことによって公開することを趣旨としています。

■オープンアクセスって何?

オープンアクセスとは、インターネットを通じて研究成果を無料で公開し、世界の人が、対価なくこれを楽しめるようにすることです。

オープンアクセスが進むと、誰もが無料で論文を読めるようになるので、研究者本人や所属機関の経済力に依らない、公正な学術進歩の創出につながります。

また著者にとっては、論文の可視性が向上することで論文の閲覧数が増加し、引用される可能性が高まります。

**■一橋大学での
オープンアクセスの取組み**
一橋大学研究データ
管理・公開ポリシー

令和5年3月2日に策定されました。本ポリシーでは、知的、文化的遺産を創製、蓄積し、広く公開することで、学術・社会的発展に貢献することを目的とし、本学に所属する研究データの管理・公開・活用に関する原則を定めています。また本ポリシーの解釈では、大学として研究データを公開する目的でデータリポジトリを提供するとしており、一橋大学機関リポジトリHERMES-IRにおいて、研究データの公開を実施を行っています。

**■一橋大学での
オープンアクセスの取組み**

本学では、各方針やポリシーの下、機関リポジトリHERMES-IRにより、研究成果をインターネット上で無料で公開しています。

HERMES-IR

本学に在籍する研究者や博士課程の大学院生は、学術雑誌掲載論文や博士論文などをHERMES-IRに登録することが出来ます。

みなさんの研究成果は、国境を超え、時代を超えて、誰もが経済的負担なく利用できる世界人類の共有財産としていきまじやうか。

HERMES-IRの紹介
■Research & Education Resource

一橋大学の研究・教育活動の成果（学術雑誌掲載論文・研究報告書・博士論文・紀要・会議資料・教材・図書など）を電子媒体で収録・保存し、インターネット上で全文データを中心に公開しています。

HERMES-IRの紹介
■Special Collections

本学が所蔵する特殊コレクション（社会学史上、貴重な学術雑誌や書・図録類・文書類・手紙類・植物学標本の歴史資料など）を電子画像化し、インターネット上で発信しています。さらに、学術論文掲載のアーカイブとしての役割も担っています。

No.6 一橋大学 匿名希望さん

研究データの公開に、
本学機関リポジトリHERMES-IR
をご利用ください。

オープンサイエンス、研究不正防止、研究助成機関からの要請などを背景に、研究データの適切な管理が重視されるようになっていきます。HERMES-IRでは、論文だけではなく、研究データも公開することができますので、ぜひご利用ください。

データを公開することのメリット

- ・透明性と再現性の向上
- ・共同研究の促進
- ・引用と影響の向上
- ・資金提供者への報告
- ・法律・倫理規定の遵守
- ・長期保存とアクセスの確保

■方法

- ・研究データのみを登録する場合
「研究データ登録申請書」と研究データを併せて、ご提出ください。
- ・論文と一緒に登録する場合
「一橋大学機関リポジトリHERMES-IR 著作物利用許諾（同意）書」と「研究データ登録申請書」にご記入の上、論文・研究データと併せてご提出ください。
※論文情報をresearchmapに入力済の場合は、「研究データ登録申請書」のみご提出ください。

■各種モード・提出先

<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/ir/download.html>

電子情報係：lib-contents@ad.hit-u.ac.jp

■注意事項

- ・研究データを公開するかどうかの判断は研究者自身で行う必要があります。公開に当たっては、個人情報や機密情報など、重要な情報が含まれていないか、ご確認の上、ご依頼ください。
- ・機関リポジトリの他にも、分野別リポジトリや、汎用リポジトリ（figshare、Zenodo等）があります。投稿先ジャーナルや研究助成機関の指定がある場合には、要件に合わせて公開するデータリポジトリを選択してください。

6_研究データの登録呼びかけチラシ
(教授会用)(一橋・匿名).pdf

“研究データの登録を呼びかけるために教授会で配布したチラシです。”

論文発表のつど、すべきこと

研究代表者
工学研究科教授 押原隆士殿

基盤研究(B) (課題番号12345678) の採択おめでとうございます。

全世界の研究者が同研究の成果に触られるよう、国の方針に則り、発表論文をオープンアクセス化することが求められています。図書館機構では、そのための2つの支援活動を行っておりますのでご活用ください。

実績報告書(右図)提出時に困らぬよう、論文発表のつど、忘れずにオープンアクセス化しておくことをおすすめします。

本件に関する照会先：附属図書館研究支援係

方法1 「AGENAI」に登録する

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」(内閣府)において、「学術論文及び根拠データの即時オープンアクセスを実現」するための情報基盤は、本学においては図書館機構が運営する学術情報リポジトリ「AGENAI」にあたります。

「AGENAI」への論文登録は論文名・発表誌情報を添えて以下のメールアドレスにご相談ください。なお、出版社が体裁を整えた最終論文ファイルでなく、投稿段階の原稿ファイルが必要になる場合がほとんどですので、保持しておくことをお勧めします。

方法2 出版社にAPCを払いOA化する

別法として、(1)オープンアクセス誌に論文発表する、または(2)論文受理時にオープンアクセス化したいことを出版社に伝えてそのように措置してもらう、という方法があります。

いずれも多くの場合、APC (Article Processing Charge) と呼ばれる特別料金を支払うことが求められます。本学は以下の出版社のAPC割引契約を締結していますので、これら出版社の刊行誌に論文発表する際は、<http://lib.yoshida.ac.jp/apc/>の説明に従い同制度をご利用ください。

No.7 京都大学 匿名希望さん

論文発表のつど、すべきこと .pptx

科研採択のタイミングで即時 OA方針対応について注意喚起しておくチラシ(試作)。内定者に配付する

“H26春（採択内定時）の配付を想定”
(画面右上黄色吹き出しから引用)

No.8 横浜国立大学 匿名希望さん

横国 太郎先生

附属図書館機関リポジトリ担当の〇〇です。
いつもお世話になっております。

2024年10月21日～27日は国際オープンアクセスウィークです。

本学ではオープンアクセスを推進しており、
めの活動を日々行っております。

<https://www.openaccessweek.org/>

つきましては、オープンアクセス論文として
文について、

本学リポジトリ上での公開のご許諾をいた

(論文情報)

※ご許諾いただけましたら登録作業は図書館
生いたしません。

本論文に限らず、本学リポジトリに登録を希
オープンアクセス/非オープンアクセス間
登録の可否、登録可能なバージョン等を当
(研究成果のアクセスポイントを増やすこと
上させることが期待されます。)

ご多用中のところ大変恐れ入りますが、オープンアクセスへの取組についてご理解と協
力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

OA論文のリポジトリ登録依頼 .docx

依頼メールについての諸解説

OAウィークである10/22午前、Web of Scienceの統計情報を参照しながら、CCライセンスが付与された論文の登録許諾の連絡をした。

1. ねらい

CCライセンスは本来、所定の条件を満たせば連絡なしに利用することが可能なライセンスとなるため、許諾がなくとも法律上の問題にはならない。今回の連絡は、OAウィークの広報とリポジトリサービスの認知度を向上するために行っている。オプトアウト形式(一定期間以内に謝絶があればリポジトリ上からデータを削除する)での依頼も検討したが、登録件数を増やすのではなく、教職員の反応を期待するため、許諾を取るという形態を取っている。

2. 件数

10/22午前にメールを25名まで送付、うち10/23 17:00時点で13名から本メールに対するレスポンスがあった。うち、こちらで依頼した論文以外のOA論文について追加で登録を希望するメールも2件あった。

**リポジトリ担当者として、
既にOA化している論文の
登録依頼をした際の
依頼本文。**

“CCライセンスが付与されている論文に対して依頼という形式を取ることは必ずしも必要ではありませんし、普段はそもそも登録依頼を送っていません。

今回はOAウィークの広報にかこつけて、OA論文の寄託依頼を送付しています。

“ご自由にお使いください。”

公的資金による助成を受けた研究成果論文の 即時オープンアクセス義務化 の基本方針が発表されました

2025年度新規公募分より

- 対象の競争的研究費*を使用
- 査読付き
- 電子ジャーナルに掲載

▼ すべて満たす論文は...

＼ 即時オープンアクセス対象 /

*対象の競争的研究費

JSPS 科学研究費助成事業
JST 戦略的創造研究推進事業
AMED 戦略的創造研究推進事業
JST 創発的研究支援事業

論文をオープンアクセスにする方法

1 ○○大学リポジトリへの登録

著者の費用負担なし

リポジトリ担当へ著者最終稿を送付

OR

2 出版社へのAPC支払（オープンアクセス出版）

著者の費用負担あり

APC免除/割引を使える場合あり

QRコード

詳細はウェブサイトをご確認ください

オープンアクセス支援
https://~

No.9 東京学芸大学 南雲修司さん

9_たたき台(仮)(東京学芸大学・南雲).pdf

○○大学リポジトリへの登録

欧米の出版社の多くは査読が反映された原稿ファイル（著者最終稿）の
機関リポジトリへの登録を認めています。

電子メールで原稿ファイルと論文情報をリポジトリ担当宛に送付してください。

出版社の著作権ポリシー等を確認の上、リポジトリへ登録します。

○○大学リポジトリへの登録方法

https://~

リポジトリ関連の問い合わせ

QRコード

～部～課～係 e-mail: ~~~

○○大学のAPC免除・割引（202X年度）

出版社と○○大学との契約により、APC：Article Processing Charge（OA出版料）
の免除・割引を受けられる場合があります！

ACS | DeGruyter | Elsevier | Karger | Microbiology Society | Rockefeller UP |
Springer | Wiley

対象誌・利用条件・申し込み方法等の詳細はウェブサイトをご覧ください。

※APC免除・割引の情報は大学として特定の出版社への投稿を推奨するものではありません。

APCの免除・割引

https://~

APCの免除・割引の問い合わせ

QRコード

～部～課～係 e-mail: ~~~

元案のとおり

“元案のとおり

「第三者による無断利用、改変を許容するもののみ」というレギュレーションがあったので、素材サイトの素材や特殊なフォントを使わないように意識しました。”



オープンアクセスとは

学術論文などをインターネット上で無料で公開することで、誰でも簡単にアクセスできるようにすることです。

東京大学オープンアクセスポリシー

本オープンアクセスポリシーでは『本学に在籍する研究者は、学術雑誌等に掲載された研究成果を、東京大学学術機関リポジトリまたは研究者が選択する方法によって、可能な限り、誰もが簡単にアクセスできるように公開する。ただし、研究成果の著作権は本学には移転しない。』とし、研究成果のオープンアクセス化を推奨しています。

2025年度公募分から即時オープンアクセスが義務に

公的資金のうち2025年度から新たに公募を行う即時オープンアクセスの対象となる競争的研究費を受給する者は当該研究費による学術論文および根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等の情報基盤への掲載を義務づけられます。

詳細はこちら：

学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針
https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf

FAQ

https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_houshin_faq.pdf

---東京大学はオープンアクセスを支援します---

東京大学学術機関リポジトリ

<https://repository.clitc.u-tokyo.ac.jp/>

本学構成員は出版社および共著者の了解のもと学術雑誌論文等を掲載できます。

出版社は出版後指定期間経過かつ著者最終稿（査読後）であれば機関リポジトリでの公開を許可することが多いです。

オープンアクセス誌掲載料(APC)の支援・免除・割引

https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/apc_guide
APCの支援・免除・割引情報を提供しています。

本学が学術出版社と結んでいる学術雑誌の転換契約や購読契約等により、該当出版社のAPCの支援・免除・割引を受けられる場合があります。

No.10 東京大学 前田朗さん

10_オープンアクセス周知用ポスター (東大・前田).pdf

即時OA義務化および図書館が実施している OA支援の周知

“OA支援の向上に関するアンケートを実施しています。
その広報もかねてポスターを作成しました。”



2024年10月21日～27日

「オープンアクセス (OA) 支援の向上に関するアンケート」実施中

<https://forms.office.com/r/avEJjp013p>

【実施期間】2024年10月21日(月)～2025年1月31日(金)【対象】論文を執筆する教職員・学生



〇〇図書館 オープンアクセスウィークのお知らせ

2024.10.21



〇〇図書館では、「[国際オープンアクセスウィーク \(International Open Access Week\)](#)」の開催にあわせて、オープンアクセスの広報を実施します。

Download Poster **オープンアクセスウィークポスター**

オープンアクセスとは

学術論文などをインターネット上で無料で公開することで、誰でも簡単にアクセスできるようにすることです。
【オープンアクセスハンドブック】第2版 東京大学附属図書館

〇〇大学オープンアクセスポリシー

2025年度公募分から即時オープンアクセスが義務に

公的資金の支出の活用から新たに公募を行う即時オープンアクセスの方向となる競争的研究費を受給する者は、とりわけ掲載形態への掲載義務が課せられます。

詳細はこちら

- ・ [学術論文等の開示・オープンアクセスの実現に向けた基本方針](#)
- ・ [FAQ](#)

〇〇大学はオープンアクセスを支援します

〇〇大学機関リポジトリ/strong
〇〇大学機関リポジトリ (JSTOR Tokyo Repository) は、〇〇大学の学術研究成果を幅広く一般に発信する学術機関出版局および図書館の協力を得て、学術論文等を掲載します。
出版社は出版費用を削減し、学術論文の「出版後」における機関リポジトリでの公開を許可することが多い。

[オープンアクセス推進員 \(APC\) の支援・サポート](#)

「オープンアクセス (OA) 支援の向上に関するアンケート」実施中

学内研究者のOAに関する認識の把握および論文等のOA化に関する状況の調査を行い今後のOA支援の向上に役立てたいと考えています。

- ・ 本件に関するお問い合わせ先 (連絡先はこちら)

No.11 東京大学 前田朗さん

11_OA Week用のWebサイトひな形.zip

- ・ [oaweek.html](#)
- ・ [imagesフォルダ > 2024openaccess.png](#)
[OA_poster.png](#)

OA Week特設サイト用のひな形

```

oaweek.html
1 <!DOCTYPE html>+
2 <html lang="ja">+
3 +
4 <head>+
5 <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8" />
6 <meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />+
7 <meta name="KEYWORDS" content="図書館, オープンアクセス" />+
8 <title>〇〇図書館 オープンアクセスウィークのお知らせ </title>+
9 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />+
10 <link href="https://cdn.jsdelivr.net/npm/bootstrap@5.3.0/dist/css/bootstrap.min.css" integrity="sha384-9ndCyUaIbzAi2FUVXJi0CjcmCapSm07SnpeJf0486ahLnuZ2c" crossorigin="anonymous">+
11 +
12 </head>+
13 +
14 <body class="news">+
15 <div class="container-fluid">+

```

“シンプルかつ簡潔なメッセージと構成、またBoosstrapによりデザインで仕上げられています。

OA Week特設ページを作成するときの参考やひな形としてお使いください。

バナー画像はSPARCにて提供されていたものを使っています。”

オープンアクセスとは

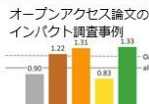
論文などの学術情報をWeb上でだれでも無償で自由に利用できるようにすることで

オープンアクセスにすると、なにがいの？

だれでも論文を読めるようになります

論文を引用される可能性が高まります

研究成果を社会に共有・還元できます



被引用率が
18%高い
という調査結果も

Piwowar, Heather et al. The state of OA: a large-scale analysis of the prevalence and impact of Open Access article (PeerJ) 6: e4375. <https://doi.org/10.7717/peerj.4375>

九州大学では、社会に開かれた大学としてオープンアクセス方針を定め、公的資金を用いた研究成果を原則公開することとしています。

学術雑誌論文をオープンアクセスにする3つの方法

APCを払ってオープンにする [Gold Open Access]

① オープンアクセスジャーナルに投稿する

APCを払わずにリポジトリでオープンにする [Green Open Access]

② 一般的な購読型ジャーナルに投稿しオープンアクセスオプションを選択する「ハイブリッドジャーナル」
③ 著者最終稿 一般的な購読型ジャーナルに投稿した論文を学術情報リポジトリQIRに登録する

APC(Article Processing Charges)とは論文をオープンアクセスで出版するために、著者側が負担する所要経費 ※1件およそ20~40万円が多数

多くの出版社が、個人サイトや所属機関のリポジトリへの著者版の登録を認めています。

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)に登録することで

- Freeでオープンアクセスにできる
- Google Scholarやディスカバリサービスからも検索にヒットする
- Web of Science等のデータベースから直接QIRのフルテキストへリンク
- 利用件数が表示される(論文情報ページへのアクセス回数/本文閲覧回数)
- DOIが関連情報に記述されるので、出版社版へリンクされる・引用しやすい

OAにできるか出版社の著作権ポリシーを図書館でお調べします

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)への登録方法

教員活動進捗・報告システム(Q-RADeRS)から登録
図書館WebサイトマイページからSSO-KIDでログイン・登録
図書館宛てメールで送付
登録方法

★ご購入・ご要望は、附属図書館リポジトリ係にお気軽にご連絡ください

No.12 九州大学

匿名希望さん

12_QIRチラシ_いま知ってほしいOA_学術雑誌論文編_OAW用(九州大・匿名).pptx

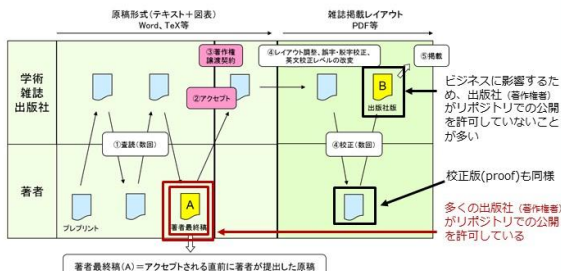
OA Week用の オープンアクセスチラシ

“オープンアクセスやリポジトリ登録について説明した啓発チラシです”

Q-RADeRSからの登録方法

- Q-RADeRSへアクセス (SSO-KIDでログイン) 予約・変更からアクセス可能 <https://researcher-db.ir.kyushu-u.ac.jp>
- 「研究活動」登録画面の「学術リポジトリ」で該当の項目を選択
- 本文ファイルをアップロード
- 図書館側の作業(著作権確認等)を経てQIRに登録・公開
登録後、研究者情報にQIRURLが表示されます

著者最終稿とは (accepted version / accepted manuscript / post print / peer-reviewed version)



★先生方のご負担を減らすため、著者最終稿(または+出版社版)をご提供ください

著作権のごこと、エンバゴ(公開猶予期間)のごこと、図書館がお調べします。

リポジトリに登録できる原稿形式、エンバゴは学術雑誌・出版社によって異なります。Q-RADeRSに本文ファイルを登録された論文は、すべて図書館リポジトリ係が著作権調査を行っています。ご執筆論文の著作権についてご不明な点があれば、お気軽にお尋ねください。

QIRとは

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)は、2006年4月に運用を開始し、学術雑誌掲載論文をはじめとして、会議発表論文、紀要論文、学位論文など、本学所属の教職員及び大学院生の著作物を収集・蓄積・保存するシステムです。インターネットを通じて学内外に無償で公開することで、本学の学術研究の発展に資するとともに、社会に対する貢献を果たすことを目的としています。

こんなお困りごはありませんか？

ケース1. ジャーナルで発表した論文



オープンアクセスにしたいがAPCが高くて払えない

※APC: Article Processing Charge
論文をオープンアクセスで出版する際
出版社に支払う掲載料

ケース2. 発表スライドやポスター



- ・学内でシンポジウムを主催したが、発表物を保存・公開する場がない
- ・学会・国際会議で報告をした際の資料を公開したい

ケース3. 授業で使った教材



Webで一般にも公開したいが
公開する手段がない

ケース4. 紀要雑誌



これまで冊子体のみで発行していたが、
Webで公開し読者を増やしたい

13_QIRチラシ_いま知ってほしい OA
_QIR活用編_OAW用(九州大・匿名).pptx

OA Week用のリポジトリチラシ

“リポジトリの啓発チラシです。”

おまかせください！ QIRへぜひご登録を



教員活動進捗・報告システム
(Q-RADeRS)から登録



附属図書館リポジトリ係宛で
メールで送付
※ご質問、ご要望もこちらに



図書館Webサイト
>マイページから
SSO-KIDでログイン・登録



登録方法は
こちら

★ ご不明な点は、附属図書館リポジトリ係にご相談を！

【送付・お問合せ先】附属図書館リポジトリ係

Tel 092-802-2459 qir@jimu.kyushu-u.ac.jp <https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/services/open/qir/toroku>

2024.10.30

博士論文のインターネット公表

- 学位規則により、博士の学位を授与された方は、原則、学位取得後1年以内に学位論文の全文を本学学術情報リポジトリにより公表します。
- すべての博士論文は国立国会図書館によって収集され、国立国会図書館での閲覧や複写等の利用に供されます。
- やむを得ない事由によりインターネットによる公表ができない場合、博士論文の全文に代えて、博士論文の要約を公表することとなります。

<やむを得ない事由>

1. 立体的形状による表現を含む等の理由
 2. 著作権保護、個人情報保護等の理由
 3. 出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許申請等との関係で、明らかな不利益が生じる。
 4. その他学府においてやむを得ない事由があると認められる場合
- ※ やむを得ない事由として認められるかは、学府による審査が必要です



学術ジャーナル等に掲載された論文で学位を取得する場合、論文は公開できないのではないのでしょうか？

学位論文におけるインターネット公開を認めている出版社もあります。著作権情報は図書館リポジトリ係がお調べします。お気軽にお尋ねください。



学位審査後、論文の内容を元に著書出版する予定です。この場合学位論文をリポジトリで公開することに問題はないのでしょうか？

出版社の方針をご確認ください。学位論文のインターネット公開が認められていない場合は<やむを得ない事由:3>として、「インターネット公表確認書」にその旨をご記入の上、学務担当係へご提出ください。



諸事情につき、一度公開した学位論文を非公開にしたいのですが...

まず、指導教員の先生にご相談のうえ「インターネット公表確認書」を再度学務担当係へご提出ください。確認書が受理されましたら、本文を非公開とすることができます。

詳しくは図書館Webサイト「博士論文のインターネット公表について」をご覧ください。



No.14 九州大学 匿名希望さん

14_QIRチラシ_いま知ってほしい OA_
博士論文編_OAW用(九州大・匿名).pptx

OA Week用の博士論文チラシ

“博士論文のインターネット公表の啓発チラシです。”

【期間限定】
論文掲載料APC
支援拡大
キャンペーン

九大 APC支援

2024.8月版

ただいま実施中

論文掲載料APCの支援対象を、期間限定で
すべての出版社・学会のジャーナルに拡大！
3割の経費負担で、論文をオープンアクセスにで

実施期間：2024年8月～2025年2月末（予定）

条件

- 論文の出版手続きを行う責任著者が九州大学に所属していること
- 著者負担分を支払える予算を持っていること

支援の詳細は
こちらをご覧ください
日本語 English

（転換契約により支援実施中）

対象期間	対象誌	著者負担額	詳細ページ
2024. 4. 1～ 2027. 3. 31	ELSEVIER ハイブリッドOA誌 ※フルOA誌や一部のハイブリッドOA誌は対象外 →詳細ページでご確認ください	APC価格表の日本円 価格の3割	対象外雑誌の APC割引制度 あり
2024. 1. 1～ 2024.12.31 (期間延長予定)	WILEY ハイブリッドOA誌 およびフルOA誌	APC価格表のUSドル 価格の3割に為替レ ートを乗じた額	
2024. 1. 1～ 2025.12.31	ROYAL SOCIETY OF CHEMISTRY すべてのハイブリッドOA誌 ※フルOA誌は対象外	APC価格に為替レ ートを乗じた額	
2024.8～ 2025.2末	すべての 出版社等 ハイブリッドOA誌 およびフルOA誌 ※上記3社転換契約 対象誌以外も含む	出版社請求額の3割	

期間限定
APC支援拡大
キャンペーン

- (条件) (主な手順)
- 論文アクセプト日と出版社請求（または領収）1.論文のアクセプト後にAPC補助の申請フォームへ入力日付が9月1日以降
 - 2.支払書類を図書館に送付
 - 2月末までに書類提出が可能であること
 - 3.著者負担額を図書館が徴収

APC支援情報の詳細は図書館ウェブサイト下部のバナー「APC support」
からもご覧いただけます
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/services/open/gold/apc>



【APC支援に関するお問合せ先】 附属図書館Eリソース管理係
Tel 092-802-2489 galib@jmu.kyushu-u.ac.jp

No.15 九州大学

匿名希望さん

2024.8

Now in progress!

During the promotion period, the scope of APC (Article Processing Charge) is expanded from all publishers and scholarly societies. You can make your paper Open Access with 30% cost sharing!

Promotion Period : Aug.2024～Feb.2025

limited-time offer APC Support Expanded

Kyushu Univ APC

Conditions

- You must be a responsible author affiliated with Kyushu University
- You must have a budget to pay the author payment

See Details
Japanese English

Applicable period	Eligible Journals	Authors will pay...	WebSite
2024. 4. 1～ 2027. 3. 31	ELSEVIER Hybrid OA journals ※There are exceptions →check our website	30% of the Article Processing Charge	
2024. 1. 1～ 2024.12.31 (The deadline will be extended)	WILEY Hybrid OA journals and Full OA journals	30% of the Article Processing Charge	
2024. 1. 1～ 2025.12.31	ROYAL SOCIETY OF CHEMISTRY Hybrid OA journals	30% of the Article Processing Charge	
Aug.2024～ Feb.2025	ALL Publishers Hybrid OA journals and Full OA journals ※Includes journals not covered by Elsevier, and RSC	30% of the Article Processing Charge	

Limited-time
Offer

- (Conditions) (Procedure)
- Acceptance date and invoice date must be after August.
 - You must be able to send the invoices by the end of February.
 - 1. Apply from the application form after your paper is accepted.
 - 2. Send the invoice to the library.
 - 3. Your payment is collected by the library.

Access the banner on the library website →
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/en/services/open/gold/apc>



【Contact】 Electronic Resource Management Section, Kyushu University
Tel 092-802-2489 galib@jmu.kyushu-u.ac.jp

15_チラシ_期間限定
APC支援拡大キャン
ペーン_日英_
(九州大・匿名).pptx

APC支援のチラシ

“現在行っているAPC支援
のチラシ（日本語・英語）で
す。”

2025年度新規公募分から 公的資金による助成を受けた



研究成果(学術論文・根拠データ)の 即時OAが義務化されます

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」
科学技術・イノベーション - 内閣府 <https://www8.cao.go.jp/csto/kenkyudx.html>

オープンアクセス(OA)実現の主な方法

リポジトリでOAにする
(GREEN Open Access)

購読型ジャーナルに
投稿した論文を
学術情報リポジトリ
に登録する

無料

著者最終稿
など



※APC(Article Processing Charge): 論文掲載料

オープンアクセス
ジャーナル
に投稿する

購読型ジャーナル
に投稿し、APC
を支払って公開
する



大分大学学術情報リポジトリ(OUR)で 簡単にOA化できます!



<https://our.repo.nii.ac.jp>

① 研究成果の提供

- ・ 共著の場合、共著者からリポジトリ登録の同意を取得
- ・ 登録申請フォームから公開可能な版を送付 (https://opac.lib.oita-u.ac.jp/research_support)

※メールでの提供も可



② 図書館で登録

- ・ 出版社の著作権ポリシーなどを確認
- ・ メタデータ(論文情報)などを付与

③ 世界へ発信

- ・ CiNiiなどの各種DBから情報が公開され、研究の可視化を促進
- ・ OURは誰でも自由に閲覧

【学術情報リポジトリに関する問い合わせ】
大分大学 学術情報課 情報サービス係
E-mail libserv@oita-u.ac.jp

No.16 大分大学

学術情報拠点

大分大学の学術雑誌投稿オープンアクセス化支援



大分大学と出版社との契約により、本学教職員等が責任著者である論文について、大学負担でオープンアクセス化することができます。
※上限を超過した場合、翌年(度)まで同支援の対象外となります。

Springer Nature

1月~12月

対象: 出版社指定のHybrid OA誌

Oxford University Press (OUP)

対象: 出版社指定のHybrid OA誌

タイトルリストや対象期間等は、
学術雑誌投稿オープンアクセス化支援
(https://opac.lib.oita-u.ac.jp/OA_support)
からご確認ください。



Elsevier

4月~3月

対象: 出版社指定のHybrid OA誌

※対象外のHybrid OA誌及びFull OA誌についても割引(本人負担)あり。

タイトルリストや対象期間等は、
学術雑誌投稿オープンアクセス化支援 (Elsevier)
(https://opac.lib.oita-u.ac.jp/OA_support_Elsevier)
からご確認ください。



<Hybrid OA誌>
掲載される個々の論文毎にAPCを負担してOAにするかどうかを著者が選択する方式の雑誌

<Full OA誌>
掲載される論文の全てがOAで公開される方式の雑誌

【OA化支援に関する問い合わせ】
大分大学 学術情報課
情報サービス係
E-mail libserv@oita-u.ac.jp
医学情報サービス係
E-mail jyoserv@oita-u.ac.jp

16_即時OA・オープンアクセス化支援チラシ(大分大・匿名).pdf


即時OA義務化及び図書館OA支援(リポジトリ・R&P契約)の周知

“掲示及び学内イントラ掲示板等に掲載して、学内に周知を行っています。”



オープンアクセス(OA)のご案内と 大分大学学術情報リポジトリへの 研究成果登録のお願い







大分大学学術情報拠点 (図書館/医学図書)

① 大分大学オープンアクセス方針

大分大学では、オープンアクセス方針(令和4年(2022年)1月19日)を定め、可能な限り広く無償で研究成果(学術雑誌に掲載された学術論文、総説、予稿等の学術情報)を公開することとしています。

大分大学オープンアクセス方針
(https://www.lib.ouita-u.ac.jp/lib_01r/OApolicy.pdf)

大分大学オープンアクセス方針実施要領
(https://www.lib.ouita-u.ac.jp/lib_01r/OAyoeyo.pdf)

② オープンアクセスにすることのメリット

- ✓ 誰でも無料で論文を読めるようになる
- ✓ 論文を引用される可能性が高まる
- ✓ 研究成果を社会に還元できる
- ✓ 科研費実績報告書のオープンアクセス欄にチェックできる

③ 学術雑誌論文をオープンアクセスにする方法

リポジトリでオープンにする (Green Open Access) APCを払ってオープンにする (Gold Open Access)

① 研究成果の提供

■ 登録申請フォーム (<https://forms.ole/5mAVEXJ11dNvY5S38>)
又は
■ メールに公開可能な版(原則として著者最終稿)を添付し、学術情報課課長サービス係 (libserv@ouita-u.ac.jp) に送付

提供後に以下の情報が含まれない場合は、速やかに併せてお知らせください。
・掲載誌誌名・巻号 ・掲載論文等のDOI (デジタルオブジェクト識別子)
・その他特筆すべき事項

② 図書館で登録作業

- 著作権確認
出版社の許諾状況の確認を行います
- 索引語(メタデータ)付与
検索用に索引語(メタデータ)を付与します。
・ Title → Keyword ・ Authors
・ Issue Date ・ Abstract など

■ 著作権が著者にある場合
著者の同意により公開可能です。共著者がいる場合は、その許諾をおとりください。

■ 著作権が出版社にある場合
商業出版発行分は、出版社側に著作権が帰属されていることがほとんどです。この場合は出版社の許諾が得られたものとなります。

③ 世界へ発信





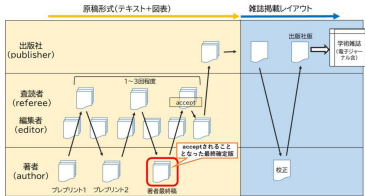

④ Q&A

大分大学オープンアクセス方針の対象者は誰ですか?
→ 大分大学の常勤の教員及び技術職員です。

誰がリポジトリに登録できますか?
→ 上記の方以外でも、大分大学に在籍する、又は在籍したことのある教職員及び学生とその他、学術情報課長が認めた方が登録することができます。

ORCIDに登録できる学術研究成果にはどんなものがありますか?
→ 大分大学の研究・教育活動により作成又は電子化された学術情報資源を登録することができます。具体的には、学術雑誌論文、要約論文、学位論文、テクニカルレポート、学会予稿集などが該当します。

著者最終稿とはどの原稿のことですか?
→ アクセプトされる直前に著者が提出した原稿を指します。
※accepted version / accepted manuscript / post print / peer-reviewed version 等



投稿から雑誌掲載までの論文の版変遷(参考:北海道大学附属図書館作成資料)

令和4年(2022年)6月8日作成
令和6年(2024年)8月1日改訂

お問合せ: 大分大学 学術情報課課長サービス係
TEL 097-554-7484 E-mail libserv@ouita-u.ac.jp

No.17 大分大学 学術情報拠点

17_リポジトリパンフレット (大分大・匿名).pptx

OAの周知と リポジトリの周知及び 提供依頼

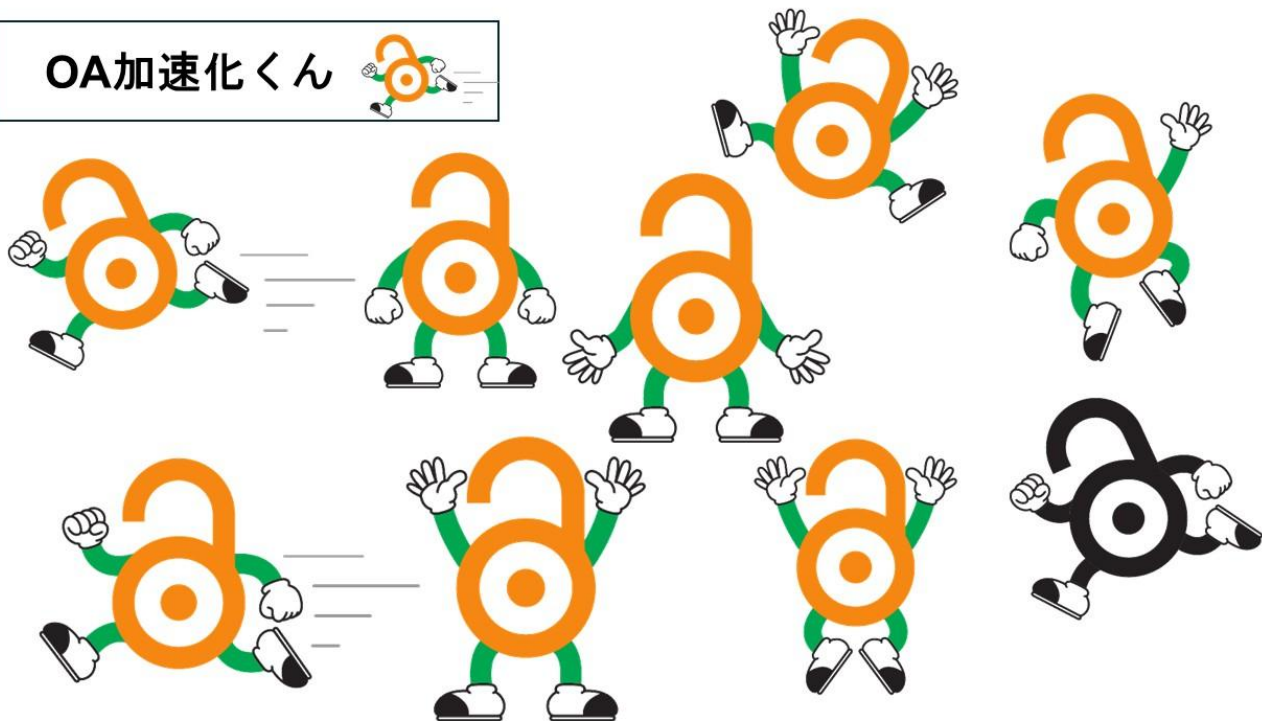
“A5サイズに印刷して館内配布を行っているほか、研究者及び関連部局への説明資料として使用しています。”

No.18 大分大学 学術情報拠点

18_OA加速化くん画像データ (大分大・匿名).pptx

オープンアクセス加速化事業の
キャラクターとして
グッズ作成など広報に使用

OA加速化くん



“OA加速化くん（大分大学が「オープンアクセス加速化事業」に採択されたことを機に誕生したイメージキャラクター）のデータ集です。

図書館の特設ページ

(<https://opac.lib.oita-u.ac.jp/OAkasokukakun>)

にて、CC0で公開しています。”

Green OA (Repository)

GRIPS has its own institutional repository. Research outputs are available to the public for free. GRIPS IR <<https://grips.repo.nii.ac.jp/>>

441 items

GRIPS
Discussion Papers94 items
Journal Articles89 items
Research Paper8 items
C.O.E

604 items

GRIPS
Doctoral Dissertations

OA papers can attract more readers and citations compared to being a paywall, i.e., papers require a subscription to read.

The number of funding agencies which promote OA by encouraging or requiring their OA policies to the grant recipients is increasing.

Open Access (OA): a movement that allows research outputs to be used for free without legal or technical restrictions.

Green OA: also known as a self-archiving. A way of publishing research outputs in institutional repository.



No.19 政策研究大学院大学 石井愛さん

グリーンOA (学術機関リポジトリ)

政策研究大学院大学(GRIPS)には機関リポジトリがあります。ディスカッションペーパーや博士論文などの研究成果を発信しています。GRIPS IR <<https://grips.repo.nii.ac.jp/>>

441 items

GRIPS
ディスカッション
ペーパー94 items
学術雑誌論文89 items
研究報告書84 items
C.O.E.オーラル
政策研究プロジェクト

604 items

GRIPS
博士論文

オープンアクセス(OA)とは、論文等の研究成果を無料で法律や技術的な制限なく利用できるようにする取り組みです。グリーン OAとは、機関リポジトリ等で論文を公開する方法で、セルフアーカイビングとも呼ばれます。

論文等の研究成果をオープンアクセスにすると著者には研究成果の可視性が高まる、引用の可能性が高まる等のメリットがあります。

また国内外の研究助成機関では研究成果のオープンアクセス化の推奨、もしくは義務化が進んでいます。



19_GreenOA_リポジ トリの紹介ポスター (政研大・石井).pptx

OAに関する図書館の 支援の認知向上のための ポスター

“※ラフ案※機関リポジ
トリの簡単な紹介です。(英
・日)”

HOT
TOPIC

GOLD OPEN ACCESS

BENEFITS OF PUBLISHING OPEN ACCESS



5 OPEN ACCESS MODELS

Gold OA allows authors and institutio research papers for free by paying a charge (APC).

Mainly, there are two models for publis (1) Submit to journals generally referred journals or full OA journals, where all are OA. (2) Submit to journals called where only papers that have paid APCs a

GOLD

Articles available for free immediately on publisher's website

GREEN

Self archiving by authors in a research repository

HYBRID

Mixture of open access and closed access articles

DIAMOND

Research institutions provide funding, so no costs for authors and readers

Articles w license, but free on the



ACCESSIBILITY

Readers around the world can access without having to pay.



QUALITY

Articles are fully peer-reviewed. Credibility is crucial.



VISIBILITY

Increase in exp dissemination



Many funding agencies are promoting OA by encouraging or requiring their OA policies to the grant recipients.



GLOBAL IMPACT

Your research can encourage innovati and lead to new discoveries.

GRIPS LIBRARY Read & Publish D

What is R&P deal?
Read & Publish (R&P) deal is when authors affiliated with GRIPS are eligible to publish open access in the following publishers' journals at no cost. Terms and conditions vary depending on each publisher.

- Oxford Univer
- Taylor & Fran
- Cambridge U
- Elsevier

The National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS) Library
7-22-1 Roppongi, Minato-ku, Tokyo 106-8677
TEL: 03-6439-6052
E-mail: lib@grips.ac.jp

GRIPS
LIBRARY

Support for OA Pu
For more informa
email sent from th
with library staff,

特集

ゴールドオープンアクセス

オープンアクセス出版のメリット



5つのオープンアクセスモデル

ゴールドOAは著者や機関が論文投稿料 (APC) を支払うことで論文を無料で公開するというものです。

ゴールドOAで出版するには主に二つのモデルがあります。一つ目は、掲載論文のすべてがOAであるオープンアクセス・ジャーナル、フルOAジャーナルなどと呼ばれる雑誌に投稿する方法。二つ目は、APCを支払った論文のみがOAになるハイブリッドジャーナルと呼ばれる雑誌に投稿する方法です。

ゴールド

論文は出版社のウェブサイトに無料で掲載できる期間なく、公開されます。

グリーン

著者による研究機関リポジトリ等への論文を公開する方法です。

オープンアクセス

と有料アクセス記事が混在している雑誌です。

ダイヤモンド

研究機関等が出版資金を提供することでも著者も費用がからなというモデルです。

ブロンズ

OAライセンスが明示されていない出版社のサイトなどで無料で公開されている論文です。



利便性

世界中の読者が料金を支払うことなくアクセスできます。



品質

すべての掲載論文は査読済みです。研究の信頼性は非常に重要です。



可視性

露出と普及の増加により、多くの引用をもたらします。

\$ ¥ 研究助成機関の姿勢

国内外の研究助成機関では研究成果のオープンアクセス化の推奨、もしくは義務化が進んでいます。

世界規模の影響力

あなたの研究はイノベーションを促進し、新たな発見につながる可能性があります。

オープンアクセス論文出版支援について

オープンアクセス論文出版支援とは？
本学の構成員が責任著者 (Corresponding Author) として論文をオープンアクセス出版する際の論文投稿料 (APC : Article Processing Charge) を免除いたします。出版社により適用条件等が異なります。

- 対象の出版社
- Oxford University Press
 - Taylor & Francis
 - Cambridge University Press
 - Elsevier

政策研究大学院大学 (GRIPS) 図書館
〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1
電話: 03-6439-6052
E-mail: lib@grips.ac.jp

GRIPS
LIBRARY

OA論文の出版支援について詳しくは図書館からお送りするメールでご確認ください。図書館スタッフまでご相談ください。

No.20 政策研究大学院大学 石井愛さん

20_GoldOA_OA出版の紹介ポスター (政研大・石井).pptx

OAに関する図書館の支援の認知向上のためのポスター

“※ラフ案※

ゴールドOAを中心にOA出版の案内と図書館の取り組みを紹介しています。(英・日)”

No.21 政策研究大学院大学 石井愛さん

20_GoldOA_OA出版 の紹介ポスター (政研大・石井).pptx

APC支援の広報

“※ラフ案※
転換契約、APCの解説と現
在行っている
APC支援の概要を
紹介しています。
(英・日)”

GRIPS LIBRARY READ & PUBLISH DEAL INFORMATION

In 2024, GRIPS Library has agreed on a Read & Publish (R&P) deal with Oxford University Press, Taylor & Francis and other publishers. Authors affiliated with GRIPS are eligible to publish open access in some journals at no cost.
The R&P deal also covers a conversion agreement or contract conversion. It promotes OA and attempts to tackle ever-increasing journal subscription costs and article processing charges (APC).

When considering submitting a research paper to a journal, please take advantage of this opportunity.
*Conditions apply for deal. The number of conversions is limited.
*Eligible Author: A corresponding author who has a valid email address associated with their ORCID iD (xx@grips.ac.jp or an author's e-mail address).

SUPPORT FOR PUBLICATION OF OA ARTICLES



CONTRACT CONVERSION

Contract conversions aim to expand OA by gradually transferring journal subscription and Article Processing Charge (APC). In general, there are Read and Publish (R&P) and Publish and Read model in which subscription fees and OA published into one contract and paid to the publisher, in which you only pay the cost for OA the publisher, and you can also read non-OA additional fee. A contract conversion is an agreement that aims to transition from subscription to payment for publication, with goal of eliminating subscription payment.

GRIPS図書館の転換契約について

GRIPS図書館では2024年にオックスフォード大学出版局、Taylor & Francis社、ケンブリッジ大学出版局、Elsevier社と転換契約を結びました。GRIPSに所属する著者は、複数の雑誌でOA出版時の論文掲載料 (APC) を支払うことなく、OA出版が可能です (※)。転換契約はOAの推進と読者が支払うべき掲載料とAPCの支払いに対応するための新しい契約モデルです。

1. OXFORD UNIVERSITY PRESS

Terms: Articles must be accepted for publication from 1 January 2024 until 31 December 2025.
The cap of APC waiver for 2024 is 3 articles (on a first-come first-served basis).
Eligible journals: hybrid journals covered by the agreement.
*Except journals from the Endocrine Society.

Eligible article: Research Article, Review Article, Case Report, Brief Report
*You cannot apply for a full APC waiver, if the number of waiver is exceeded the limit at the time your article is approved.
*When the cap has been reached, you may receive 10% APC discounts.

2. Taylor & Francis

Terms: Articles must be accepted for publication from 1 January 2024 until 31 December 2025.
The cap of APC waiver for 2024 is 3 articles (on a first-come first-served basis).
Eligible journals: hybrid journals covered by the agreement.

Eligible article: Original research articles
*You cannot apply for a full APC waiver, if the number of waiver is exceeded the limit at the time your article is approved.
*When the cap has been reached, you may receive 10% APC discounts.

Article Processing Charge (APC)

Journals are usually readable only by those who have a subscription fee, but in OA journals authors can pay no APC for their open articles. Article Processing Charges (APCs) are fees charged to make individual articles in scholarly journals accessible, specifically to cover the costs of publication administration. These fees may be paid by an author or funded by their institution. Not all fully open journals require an APC, but all hybrid journals charge an APC.

オープンアクセス 論文出版支援

転換契約とは？

契約転換は、雑誌購読料を段階的に論文掲載料 (APC) に移行することでOA出版の拡大を目指す取り組みです。一般に、Read & Publish (R&P) と Publish & Read (P&R) の2つのモデルがあります。R&Pは、購読料とOA出版のための費用を1つの契約に合わせて出版社に支払うモデルです。P&Rとは、OA出版にかかる費用のみを出版社に支払う契約で、OA以外の論文も追加料金を払って読むことができます。転換契約は、購読料の支払いを出版費用の支払いに移行することを目的とした段階的な契約であり、最終的な目標は購読料の支払いをなくすることです。

論文掲載料 (APC)

通常、雑誌は購読料を払って購読した人だけが読むことができますが、OAジャーナルやOAジャーナルでは、著者がAPCを支払うことで誰でも記事を読めるようになります。論文掲載料 (APC) は、出版社が、出版および雑誌管理のコストを補うために、単独購読者のみの論文をオープンアクセスで公開する際の管理費用・掲載料としてAPCを請求します。これらの費用は、著者の所属機関や資金提供団体、または著者によって支払われる場合があります。すべてのOAジャーナルがAPCを必要とするわけではなく、すべてのハイブリッドジャーナルはAPCを請求します。

OA出版のメリット

- 利便性**
 - 世界中の読者が料金を支払うことなく論文にアクセスできます。
- 論文の価値**
 - 引用スコアや引用数の増加が期待できます。
- 可視性**
 - 露出と普及により著者の学術的価値が向上します。
- 研究助成機関の姿勢**
 - 政府のバックアップを受け、積極的に推進されています。
- 世界規模の影響力**
 - あなたの研究は、国際的に共有される可能性があります。
- 環境**
 - 包括的で持続可能な研究環境の構築に貢献します。

1. OXFORD UNIVERSITY PRESS

対象期間: ~2025年12月31日
期間内に出版承認されている論文が対象です
対象の本数: 2024年は年間3本 (先着順)
対象ジャーナル: ハイブリッドジャーナル
※本学の対象はhybrid journalsのみです。
※Endocrine Society (米国内分泌学会) のジャーナルは対象外です。

対象論文: Research Article, Review Article, Case Report, Brief Report
※出版が承認された時点で、免除になる論文数 (3本) を超えた場合は適用されません。
※上層 (年間3本) を超えた後、10%の割引が適用される場合があります。またフルOAジャーナルについても割引が適用される場合があります。

2. Taylor & Francis

対象期間: ~2026年12月31日
期間内に出版承認されている論文が対象です
対象の本数: 2024年は年間3本 (先着順)
対象ジャーナル: ハイブリッドジャーナル / Gold OAジャーナル
※本学の対象はhybrid journalsのみです。

対象論文: オリジナルの研究論文であること (Book Reviewなどは対象外)
※出版が承認された時点で、免除になる論文数 (3本) を超えた場合は適用されません。
※上層 (年間3本) を超えた後、割引が適用される場合があります。

3. Cambridge University Press

対象期間: ~2024年12月31日
期間内に出版承認されている論文が対象です
論文の本数: 無制限
対象ジャーナル: ハイブリッドジャーナル / Gold OAジャーナル

対象論文: Research Article, Review Article, Rapid Communication, Case Report, Brief Report
※出版料の上限はありません。
※案件等は今後変更となる可能性があります。

4. Elsevier

対象期間: 2024年4月1日 ~ 2027年3月31日
期間内に出版承認されている論文が対象です
論文の本数: 2024年度は年間4本 (先着順)
対象ジャーナル: 寄付のリスト (Eligible Journals/Elsevier202404)をご確認ください。
※APC免除対象外で割引が適用されるジャーナルもあります。

対象論文: Case reports, Data in Briefs, Full-length articles, Micro-articles, Original research publications, Practice guidelines, Protocols, Reviews, Short surveys, Video articles
※出版が承認された時点で、免除になる論文数 (4本) を超えた場合は適用されません。

GRIPS 図書館

※案件等は今後変更となる可能性があります。ご不明な点は図書館にご相談ください。

〒106-8677 東京都港区六本木1-22-1
電話: 03-6439-6052
E-mail: lib@grips.ac.jp

簡単！研究データリポジトリ登録

登録に必要な
実作業は
この部分だけ！

① データと申請書を
メールで送付

送るだけ！



研究者

申請書(Excel)の記入項目

- タイトル
- 作成日
- 研究者番号
- 作成者氏名
- 連絡担当者氏名、連絡先
- 内容説明 など

図書館
リポジトリ担当



② 内容の確認
登録作業

ir-submit@nul.nagoya-u.ac.jp
内線 3686(東山)



③ 機関リポジトリにて
公開
→メタデータ流通

機関リポジトリ登録のメリット

- ・ 研究データをリポジトリで保存できます
- ・ 公開手続きに図書館の支援を受けられます
- ・ 永続的なURLが得られます
- ・ DOIを付与できます(希望制)
- ・ CiNii Researchなど、データベースで検索できるようになります

No.22 名古屋大学

図書館オープンサイエンスプロジェクトチーム

22_1分でわかる！研究データリポジトリ登録
_A4ver(名古屋大学・OSPT)_pptx

研究データのリポジトリ登録方法の広報

よくある質問

申請書はどこにありますか？

- ・ リポジトリの「[登録要領-研究データ](#)」からダウンロードできます。
- ・ [研究データ登録申請書.xlsx](#)

ファイルサイズが大きくてメールで送れない場合は？

- ・ NUSSなどをご利用ください。

登録できるファイルサイズに制限はありますか？

- ・ 全体で150MBを超える場合は、事前にご相談ください。

公開にあたって注意することは？

- ・ 権利関係は事前にご確認ください。
その他、申請書の確認項目を参照してください。

“研究データの登録方法をとにかく簡単に紹介するために作成。

名古屋大学附属図書館オープンサイエンス・オープンアクセス支援サイト

(<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/os/index.html>) ”

Library supports the publication of your article and research data!

図書館が論文・研究データの公開を支援します!

オープンサイエンスとは

社会に広く開かれた研究活動を指します。研究過程のデータや成果の論文等を公開し、社会の誰もがアクセスできる状態にすることで論文や研究データがより長く・幅広く活用されることや研究活動の透明性を高めるといった効果も期待されておりこの流れは世界的に広まっています

名古屋大学附属図書館では
オープンサイエンスの推進を支援するため
 オープンアクセス・サイエンスの概要や
 研究データ管理・公開のための情報をまとめた
Webページを公開しています。

内容は今後も随時更新予定ですので是非ご覧ください!



名古屋大学附属図書館
 オープンサイエンス・オープンアクセス支援
<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/os/index.html>

東海国立大学機構 名古屋大学附属図書館
 オープンサイエンスプロジェクトチーム 広報サブチーム

NAGOYA Repository
<https://nagoya.repo.nii.ac.jp>

What is NAGOYA Repository?
 NAGOYA Repository is a system for collecting, archiving, and permanently preserving educational or research outputs created at Nagoya University in a responsible manner, and making them available to the public for free. It is operated for the purpose of contribution to academic research and society.

Registerable Outputs

- Journal articles (including bulletin papers)
- Educational materials
- Proceedings, Presentation materials

Benefits of Registration

- It can prevent dissipation of digital data. The university is responsible for the permanent preservation of digital data.

No.23 名古屋大学 図書館オープンサイエンスプロジェクトチーム

NAGOYA Repository
<https://nagoya.repo.nii.ac.jp>

NAGOYA Repository とは

名古屋大学の研究成果を電子的に収集・保存し、インターネットを通じて広く世界に発信する仕組みです。本学の教育・研究活動によって得られた成果を社会に還元し、もって学術研究及び社会に貢献することを目的として運営されています。

登録できる成果物

- 学術雑誌論文の原稿ファイル
- 学内で発行されている紀要・研究会誌
- 教材
- 会議録・会議発表資料
- 学位論文
- 研究データ (容量が大きい場合は相談)
- 未公開資料 (公開可能なもの) ... など

登録のメリット

- デジタルデータの散逸が防げます。大学が責任を持って継続的に保存します。
- CiNiiなどの学術データベースに情報が流れ、視認性が高まります。Googleなどの検索で上位にヒットしやすくなります。
- 利用統計データが得られます。
- DOIを付与できます。引用に使えます。

登録方法

論文: 電子メールで原稿ファイルと論文情報を図書館宛にお送りいただくだけで登録できます。掲載条件などは図書館で確認します。
研究データ: ファイルと登録申請書をお送りください。詳しくはWebの「登録要領」をご覧ください。

著作権譲渡している論文は?

著作権譲渡先の出版社が許諾すれば、登録可能です。欧米の出版社の多くは、査読が反映された原稿ファイルの登録を認めています。リポジトリについての方針を公表していない学会・出版社は、図書館で確認します。

オープンアクセスポリシー (OAP)

教職員は、平成28年4月以降に出版された学術論文 (本学在籍時の成果に限る) について、オープンアクセスにするか、不可能な場合はその旨を申し出ることになっています。NAGOYA Repository に原稿ファイルを登録することで、無料でオープンアクセスになりますので、積極的にご利用ください。もちろん、OAP適用範囲外の論文も登録可能です。OAPの詳細説明: <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/index.html>

学術データポリシー

名古屋大学では令和2年10月20日に「名古屋大学学術データポリシー」を制定し、名古屋大学における学術データの管理ならびに公開および利活用原則を定めました。
<https://cts.nagoya-u.ac.jp/ja/datapolicy/index.html>

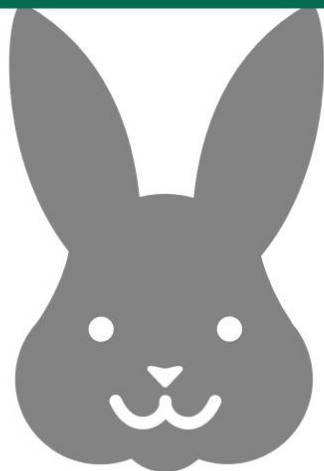
その他、研究室発行雑誌の電子化、学生の博士論文の登録についてなど、お気軽にご相談ください
 ご依頼・問合せ先: 附属図書館リポジトリ担当
 電話: 052-789-3691 E-Mail: lib-os@t.mail.nagoya-u.ac.jp

23_(日英)OSサイトチラシ両面印刷
 (名古屋大学・OSPT).pptx

図書館のOA/研究データ公開支援の広報と
 名古屋大学附属図書館オープンサイエンス・
 オープンアクセス支援サイトの広報

“リポジトリのトップページに
 掲載しています。”

印刷する場合は、両面印刷で利用することを想定して、裏面に詳細が記載されています。”



図書館が
論文・研究データの
公開を支援します！

名古屋大学附属図書館では
オープンサイエンスの推進を支援するため
オープンアクセス・サイエンスの概要や
研究データ管理・公開のための情報をまとめた
Webページを公開しています。
内容は今後も随時更新予定ですので、是非ご覧ください！

オープンサイエンスとは

社会に広く開かれた研究活動を指します。
研究過程のデータや成果の論文等を公開し、誰もがアクセスできる状態にすることで
論文や研究データがより長く・幅広く活用されることや
研究活動の透明性を高めるといった効果も期待されており
この流れは世界的に広がっています。



名古屋大学附属図書館
オープンサイエンス・オープンアクセス支援
<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/os/index.html>

No.24 名古屋大学

図書館オープンサイエンスプロジェクトチーム

Library supports the
publication of your
article and
research data!

Library has established the webpage to promote
It provides the latest information regarding
and management or sharing of research data.

will find it useful. Please take a look and use

research activities that are widely open to society.
the research process and the results of research available for all,
pers and research data will be
e widely, and that the transparency
will be enhanced.
g worldwide.

Library
pen Access Support Page
[nul.nagoya-u.ac.jp/os/e.html](https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/os/e.html)



24_(日英)OSサイトポスター(名古屋大学・OSPT).pptx

図書館のOA/研究データ公開支援の広報と
名古屋大学附属図書館オープンサイエンス・
オープンアクセス支援サイトの広報

“リポジトリトップページに掲載しています。
学内の部局図書室等にも掲示を依頼しています。

当館で利用しているバージョンは、タブレットで
支援サイトを見ている当館のキャラクターが入っ
ているデザインですが、共有にあたりその部分は
削除させていただいているので（代わりに、仮に
ウサギのアイコンを入れています）、
ご利用の際には適宜修正してください。”

Elsevier
2024年4月～

Wiley

Springer
Nature

Oxford
University
Press

論文の オープンアクセス 出版を支援します！

名古屋大学では、研究者の方がオープンアクセス出版を容易かつ安価に行えるよう支援しています。

附属図書館のWebページに出版社ごとの割引情報をまとめています。(ACS, Company of Biologists, Gruyterなど多数)

論文を投稿する際はぜひご活用ください！

※出版社ごとにオープンアクセス出版できる論文数に限りがあります。

また、支援対象となるジャーナルが変更となる場合があるため、必ず最新の情報をご確認ください。

※「Elsevier」「Springer Nature」「Wiley」「Oxford University Press」は論文1本につき「OA出版負担金」を拠出いただくことで、オープンアクセス出版できます。(負担金免除の条件あり)

名古屋大学附属図書館
オープンアクセス出版支援サイト

<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/apc.html>



お問合せ

名古屋大学附属図書館 情報管理課 電子リソースグループ
Email: lib-ers@t.mail.nagoya-u.ac.jp

広報協力

東海国立大学機構 名古屋大学附属図書館
オープンサイエンスプロジェクトチーム 広報サブチーム

No.25 名古屋大学

オープンサイエンスプロジェクトチーム広報サブチーム

Wiley

Springer
Nature

Oxford
University
Press

Support for Publishing Open Access Articles!

University is committed to helping researchers make publishing easy and affordable.

Information is posted on the Nagoya University page. (ACS, Company of Biologists, Gruyter, and more) Advantage of this service when submitting articles!

There is no limit on the number of discounts available for overall support. The journals eligible for support are subject to change, so please check the latest information.

Elsevier, Springer Nature, Wiley, and Oxford University Press are eligible for publishing with a contribution per article as the OA (Open Access) payment: (where applicable).

Library Publishing Support Page
https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/apc_e.html



Public
relations

Library, Information Control Division, Tokai National Higher Education and Research System, Nagoya University Library, Open Science Project Team, PR sub-team
lib.nagoya-u.ac.jp

25_(日英)転換契約中心 OA出版支援_ポスター金額なし(名古屋大学・OSPT).pptx

転換契約を中心とした、 OA出版支援の広報

“学内部局図書室に掲示・配布を依頼しています。

Xのポストに添付するなどして広報に利用しています。”

No.26 名古屋大学

図書館オープンサイエンスプロジェクトチーム

26_即時OAチラシ(作成中案)
(名古屋大学・OSPT).pptx

研究者必見！

学術論文等の

即時オープンアクセス

義務化が始まります

競争的研究費*を使用した研究ですか？

Yes

査読付きの論文ですか？

Yes

電子ジャーナルに掲載しますか？

Yes

即時オープンアクセスの対象です

*2025年度以降 新規公募の競争的研究費
・科学研究費助成事業 (日本学術振興会)
・戦略的創造研究推進事業 (科学技術振興機構)
・戦略的創造研究推進事業 (日本医療研究開発機構)
・創発的研究支援事業 (科学技術振興機構)

なにをオープンアクセスにするのか？

- ・学術論文
- ・根拠データ

「即時」とは？

当該論文・根拠データが学術雑誌に掲載されたのち、
公開禁止期間（エンバゴ）がないこと

どうやって公開したらよいのか？

- ・機関リポジトリに掲載する
- ・NII RDCで検索可能である分野別リポジトリに掲載する
- ・JxivやGRANTS Dataに掲載する
- ・出版社のプラットフォーム等に掲載し、資金配分機関の研究課題データベース等を通じて、NII RDCで検索可能にする

即時オープンアクセスが困難な場合は理由を報告します

- ・出版社や雑誌のポリシーでエンバゴ期間の規定が存在
- ・出版社や雑誌のポリシーが存在しない、不明瞭
- ・研究費を圧迫しない範囲でのAPC等の支払いが困難
- ・その他

詳細はこちら

<URL>

お問い合わせ

〇〇大学附属図書館

Mail:

2025年度からの即時 OA義務化 についての広報

“まだ検討中のラフ案です。
即時OA義務化に関する広報用チラシです。”

DMP、科研費報告書への記載の件など、他
部署との認識共有や役割分担が
まだ不十分なこともあり、
図書館発のチラシにどこまで記載すべき
か、どのように記載すべきか悩んでいます
(裏面を作るか?など)。

コメントいただけるとうれしいです。”

ご著作論文を多くの研究者に届けたい方へのお知らせです

以下の2つの方法、いますぐお試しください

	今だけ全出版社対象	
お金	APC金額の3割	なし
申請	①図書館に申請 ②Elsevier, Wileyの場合は・・・で「OA出版」選択	図書館にメールするだけ！ ・論文タイトル、ジャーナル等
	当該出版社の電子ジャーナルサイト上でご著作論文が公開されます	QIRでご著作論文の著者稿が公開されます (出版社の著作権上の範囲での公開)

他に言いたいことを書く

.....
.....
.....
.....



不明な点は附属図書館へ
図書館情報係 鈴木・堀 tosho@m.qdai.ac.jp



No.27 九州大学 匿名希望さん

27_チラシアアイデア .pptx

OA加速化によるAPC支援の広報と
リポジトリによるOAの広報を兼ねた
チラシ案です

No.28 九州大学 匿名希望さん

ホームページ案です←

←

タイトル：ホントに今だけ APC 支援←

←

トップにカウントダウン表示をする←

←

例) 終了まで ○○日△△時間←

例) 終了まで △△本(程度)←

28_APC支援ホームページの
アイデア.txt

APC支援のホームページの
アイデアです

No.29 北海道大学 匿名希望さん

29_元案改変部門(北の方の大学・匿名)

即時OA義務化とOA化の 方法の広報(元案のとおり)

研究費獲得
おめでとうございます!

2025年度新規公募で
研究費を獲得された方へのお知らせです

獲得した研究費は、以下のいずれかですか?

YES

- JPS科学的研究費助成事業
- JST 戦略的創造研究推進事業
- JST創発的研究支援事業
- AMED 戦略的創造研究推進事業

獲得した研究費を使って、
査読付きの電子ジャーナルに
成果論文を掲載しましたか?

YES

研究成果の即時オープンアクセスが
義務化されています!

OA化の方法は2つ

機関リポジトリへの登録

or

出版社にてOA出版

詳細は附属図書館HPへ

〇〇大学附属図書館
オープンアクセス係
<https://~>

QR
コード

2025年度新規公募分より、対象の競争的資金を使用して
査読済み論文を電子ジャーナルに掲載した場合は
研究成果の即時オープンアクセスが
義務化されています!

OA化の方法その1

機関リポジトリへの登録

著者の費用負担はありません。
附属図書館が登録を代行します。

電子メールで原稿ファイルと
論文情報を送付してください

出版社の多くは、査読が反映された
原稿ファイル(著者最終)を機関リポジトリに
登録することを認めています。

図書館にて各出版社の著作権ポリシーの詳細を
確認の上、登録を代行します。

宛先等の詳細は
附属図書館Webサイトをご覧ください

〇〇大学附属図書館 オープンアクセス係
<https://~>

QR
コード

2025年度新規公募分より、対象の競争的資金を使用して
査読済み論文を電子ジャーナルに掲載した場合は
研究成果の即時オープンアクセスが
義務化されています!

OA化の方法その2

出版社にてOA出版

著者によるAPC支払いが必要です。
ただし…

出版社と〇〇大学との契約により、
APC(Article Processing Charge:OA出版料)
の免除や割引を受けられる場合があります

※割引情報は、図書館として特定の出版社への
校稿を推奨するものではありません。

〈前年度実績〉 ACS | DeGruyter
Elsevier | Karger | Microbiology Society
Rockefeller UP | Springer | Wiley

対象誌・対象期間・利用条件・
申し込み方法等の詳細は
附属図書館Webサイトをご覧ください

〇〇大学附属図書館
オープンアクセス係
<https://~>

QR
コード

“即時OA化にも対応が
必要となって、仕事が
増えてしまう研究者を
多少なりとも応援した
い気持ちを込めていま
した。

3枚セットです。素材
の女の子画像の利用規
約はこちら

→<https://www.pakutas.o.com/userpolicy.html>

”

表彰式

デザイン賞

アイデア賞

JPCOAR委員長賞

JUSTICE委員長賞

3位

2位

1位

HOT
TOPIC

GOLD OPEN ACCESS

BENEFITS OF PUBLISHING OPEN ACCESS

5 OPEN ACCESS MODELS

Gold OA allows authors and institutions to publish research papers for free by paying an article processing charge (APC).

Mainly, there are two models for publishing with Gold OA (1) Submit to journals generally referred to as open access journals or full OA journals, where all published articles are OA. (2) Submit to journals called hybrid journals where only papers that have paid APCs are OA.

GOLD	GREEN	HYBRID	DIAMOND	BRONZE
Articles available for free immediately on publisher's website	Self archiving by authors in a research repository	Mixture of open access and closed access articles	Research institutions provide funding, so no costs for authors and readers	Articles without an explicit license, but are available for free on the publisher's website



ACCESSIBILITY

Readers around the world can access without having to pay.



QUALITY

Articles are fully peer-reviewed. Credibility is crucial.



VISIBILITY

Increase in exposure and dissemination + More citation.



FUNDER STANCE

Many funding agencies are promoting OA by encouraging or requiring their OA policies to the grant recipients.



GLOBAL IMPACT

Your research can encourage innovation and lead to new discoveries.

GRIPS LIBRARY Read & Publish DEAL

What is R&P deal?
Read & Publish (R&P) deal is when authors affiliated with GRIPS are eligible to publish open access in the following publishers' journals at no cost. Terms and conditions vary depending on each publisher.

- Oxford University Press
- Taylor & Francis
- Cambridge University Press
- Elsevier

The National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS) Library
7-22-1 Roppongi, Minato-ku, Tokyo 106-8677
TEL: 03-6439-6052
E-mail: lib@grips.ac.jp

GRIPS
LIBRARY

Support for OA Publication
For more information, please check email sent from the Library or contact with library staff.

No.20 政策研究大学院大学 石井愛さん

特集

ゴールド オープンアクセス

オープンアクセス出版のメリット

5つの オープンアクセス モデル

ゴールドOAは著者や機関が論文投稿料 (APC) を支払うことで論文を無料で公開するということです。

ゴールドOAで出版するには主に二つのモデルがあります。一つ目は、掲載論文のすべてがOAであるオープンアクセス・ジャーナル、フルOAジャーナルなどと呼ばれる雑誌に掲載する方法。二つ目は、APCを支払った論文のみOAになるハイブリッドジャーナルと呼ばれる雑誌に掲載する方法です。

ゴールド	グリーン	オープンアクセス	ダイヤモンド	ブロンズ
論文は出版社のウェブサイトに無料で掲載されますが、公開されず、公開されます。	著者による機関リポジトリへの論文を公開する方法です。	オープンアクセス論文と有料アクセス論文が混在している雑誌です。	研究機関等が出版費を提供する一方で著者も費用がからないというモデルです。	OAライセンスが明示されていない出版社のサイトなどで無料で公開されている論文です。



利便性

世界中の読者が料金を支払うことなくアクセスできます。



品質

すべての掲載論文は査読済みです。研究の信頼性は非常に重要です。



可視性

露出と普及の増加により、多くの引用をもたらします。

研究助成機関の 姿勢

国内外の研究助成機関では研究成果のオープンアクセス化の推奨、もしくは義務化が進んでいます。

世界規模の 影響力

あなたの研究はイノベーションを促進し、新たな発見につながる可能性があります。

オープンアクセス論文出版支援について

オープンアクセス論文出版支援とは？
本学の専任著者 (Corresponding Author) として論文をオープンアクセス出版する際の論文投稿料 (APC: Article Processing Charge) を免除いたします。出版社により適用条件等が異なります。

- 対象の出版社
- Oxford University Press
 - Taylor & Francis
 - Cambridge University Press
 - Elsevier

政策研究大学院大学 (GRIPS) 図書館
〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
電話: 03-6439-6052
E-mail: lib@grips.ac.jp

GRIPS
LIBRARY

OA論文の出版支援について詳しくは図書館からお送りするメールをご確認ください。図書館スタッフまでご相談ください。

デザイン賞

GoldOA_OA出版の 紹介ポスター

受賞コメント:

“英語は日本語よりも文字数が増えるため、ポスターのレイアウトに試行錯誤を重ねました。

今回、このような形で評価していただき大変嬉しく思います。

皆さま、たくさんの「イイネ！」をありがとうございました。”

No.29 北海道大学 匿名希望さん

29_元案改変部門(北海道大学・匿名)

即時OA義務化とOA化の方法の広報(元案のとおり)

研究費獲得
おめでとうございます!

2025年度新規公募で
研究費を獲得された方へのお知らせです

獲得した研究費は、以下のいずれかですか？

YES

- JSPS科学研究費助成事業
- JST 戦略的創造研究推進事業
- JST創発的研究支援事業
- AMED 戦略的創造研究推進事業

獲得した研究費を使って、
査読付きの電子ジャーナルに
成果論文を掲載しましたか？

YES

研究成果の即時オープンアクセスが
義務化されています！

OA化の方法は2つ

機関リポジトリへの登録

or

出版社にてOA出版

詳細は附属図書館HPへ

〇〇大学附属図書館
オープンアクセス係
<https://~>

QR
コード

2025年度新規公募分より、対象の競争的資金を使用して
査読済み論文を電子ジャーナルに掲載した場合は
研究成果の即時オープンアクセスが
義務化されています！

OA化の方法その1

機関リポジトリへの登録

著者の費用負担はありません。
附属図書館が登録を代行します。

電子メールで原稿ファイルと
論文情報を送付してください

出版社の多くは、査読が反映された
原稿ファイル(著者最終)を機関リポジトリに
登録することを認めています。
図書館にて各出版社の著作権ポリシーの詳細を
確認の上、登録を代行します。

宛先等の詳細は
附属図書館Webサイトをご覧ください

〇〇大学附属図書館 オープンアクセス係
<https://~>

QR
コード

2025年度新規公募分より、対象の競争的資金を使用して
査読済み論文を電子ジャーナルに掲載した場合は
研究成果の即時オープンアクセスが
義務化されています！

OA化の方法その2

出版社にてOA出版

著者によるAPC支払いが必要です。
ただし…

出版社と〇〇大学との契約により、
APC(Article Processing Charge:OA出版料)
の免除や割引を受けられる場合があります
※割引情報は、図書館として特定の出版社への
校稿を推奨するものではありません。

〈前年度実績〉 ACS | DeGruyter
Elsevier | Karger | Microbiology Society
Rockefeller UP | Springer | Wiley

対象誌・対象期間・利用条件・
申し込み方法等の詳細は
附属図書館Webサイトをご覧ください

〇〇大学附属図書館
オープンアクセス係
<https://~>

QR
コード

受賞コメント：

“投票いただきありがとうございます。
”

参加者の皆さんの硬軟
取り混ぜたアイディ
ア、とても参考になり
ました！

お互いのいいとこどりで、
伝わる広報にして
いきたいですね。”

No.9 東京学芸大学 南雲修司さん

公的資金による助成を受けた研究成果論文の
即時オープンアクセス義務化
の基本方針が発表されました

2025年度新規公募分より

- 対象の競争的研究費*を使用
- 査読付き
- 電子ジャーナルに掲載

▼ すべて満たす論文は...

＼ 即時オープンアクセス対象 /

*対象の競争的研究費

JSPS 科学研究費助成事業
JST 戦略的創造研究推進事業
AMED 戦略的創造研究推進事業
JST 創発的研究支援事業

論文をオープンアクセスにする方法

1 ○○大学リポジトリへの登録

著者の費用負担なし

リポジトリ担当へ著者最終稿を送付

OR

2 出版社へのAPC支払 (オープンアクセス出版)

著者の費用負担あり

APC免除/割引を使える場合あり

QRコード

詳細はウェブサイトをご確認ください

オープンアクセス支援
https://~

○○大学リポジトリへの登録

欧米の出版社の多くは査読が反映された原稿ファイル（著者最終稿）の
機関リポジトリへの登録を認めています。

電子メールで原稿ファイルと論文情報をリポジトリ担当宛に送付してください。

出版社の著作権ポリシー等を確認の上、リポジトリへ登録します。

○○大学リポジトリへの登録方法

https://~

リポジトリ関連の問い合わせ

～部～課～係 e-mail: ~~~

QRコード

○○大学のAPC免除・割引 (202X年度)

出版社と○○大学との契約により、APC: Article Processing Charge (OA出版料)
の免除・割引を受けられる場合があります！

ACS | DeGruyter | Elsevier | Karger | Microbiology Society | Rockefeller UP |
Springer | Wiley

対象誌・利用条件・申し込み方法等の詳細はウェブサイトをご覧ください。

※APC免除・割引の情報は大学として特定の出版社への投稿を推奨するものではありません。

APCの免除・割引

https://~

APCの免除・割引の問い合わせ

～部～課～係 e-mail: ~~~

QRコード

9_たたき台(仮)(東京学芸大
学・南雲).pdf

受賞コメント：

“この度は、JPCOAR委員長賞をいただき、ありがとうございます。

応募作品の作成がよい息抜きとなりましたし、皆様の応募作品を拝見することも、とても楽しかったです。

ご投票いただいた方々や、本イベントを企画いただいた皆様に御礼申し上げます。

ありがとうございました。”

Elsevier
2024年4月～

Wiley

Springer
Nature

Oxford
University
Press

論文の オープンアクセス 出版を支援します！

名古屋大学では、研究者の方がオープンアクセス出版を容易かつ安価に行えるよう支援しています。

附属図書館のWebページに出版社ごとの割引情報をまとめています。(ACS, Company of Biologists, Gruyterなど多数) 論文を投稿する際はぜひご活用ください！

※出版社ごとにオープンアクセス出版できる論文数に限りがあります。また、支援対象となるジャーナルが変更となる場合があるため、必ず最新の情報をご確認ください。

※「Elsevier」「Springer Nature」「Wiley」「Oxford University Press」は論文1本につき「OA出版負担金」を拠出いただくことで、オープンアクセス出版できます。(負担金免除の条件あり)

名古屋大学附属図書館
オープンアクセス出版支援サイト

<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/apc.html>

お問合せ

名古屋大学附属図書館 情報管理課 電子リソースグループ
Email: lib-ers@t.mail.nagoya-u.ac.jp

広報協力

東海国立大学機構 名古屋大学附属図書館
オープンサイエンスプロジェクトチーム 広報サブチーム

Wiley
Springer Nature
Oxford University Press

Support for Publishing Open Access Articles !

Library is committed to helping researchers make publishing easy and affordable.

Information is posted on the Nagoya University page. (ACS, Company of Biologists, Gruyter, and more) Advantage of this service when submitting articles!

There is a limit on the number of discounts available for overall library. The journals eligible for support are subject to change, check the latest information.

Elsevier, Wiley, and Oxford University Press are eligible for funding with a contribution per article as the OA (Open Access) payment. (if available).

Library
Publishing Support Page
[nul.nagoya-u.ac.jp/oap/apc_e.html](https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/apc_e.html)

public relations
Information Control Division,
Tokai National Higher Education and Research System,
Nagoya University Library
Open Science Project Team, PR sub-team
nagoya-u.ac.jp

JUSTICE委員長賞

No.25 名古屋大学

オープンサイエンスプロジェクトチーム広報サブチーム

25_(日英)転換契約中心 OA出版支援_
ポスター金額なし(名古屋大学・OSPT)
.pptx

転換契約を中心とした、 OA出版支援の広報

受賞コメント：
“投票いただき、ありがとうございます！”

見て情報が捉えやすくなるように、

タイトルが目立つこと・
転換契約対象の出版社がすぐ分かるようにすること・
なるべく掲載する情報を絞り込むこと、

を心がけて作成しました。

みなさんの参考にしていただけましたら幸いです。”

No.17 大分大学 学術情報拠点

17_リポジトリパンフレット (大分大・匿名).pptx

OAの周知と リポジトリの周知及び 提供依頼

受賞コメント：

“この度は、ご投票いただきありがとうございますございました。

このパンフレットは、令和4年の本学のオープンアクセス方針策定の際に主に学内への周知を目的として作成したものを、OA加速化くんの画像等を加えて改訂したものです。

オープンアクセスやリポジトリについて、学内の認知はまだ十分とは言えない状況ですが、今後、今回のOA広報素材作成祭りで拝見した各機関様の広報素材を参考にさせていただき、より伝わりやすい広報方法を考えていきたいと思ひます。

この度は誠にありがとうございました。”



オープンアクセス(OA)のご案内と 大分大学学術情報リポジトリへの 研究成果登録のお願い






⑥ 大分大学オープンアクセス方針

大分大学では、オープンアクセス方針（令和4年(2022年)1月19日）を定め、可能な限り広く無償で研究成果（学術雑誌に掲載された学術論文、総説、予稿等の学術情報）を公開することとしています。

大分大学オープンアクセス方針
(https://www.lib.ouita-u.ac.jp/lib_01/OApolicy.pdf)

大分大学オープンアクセス方針実施要領
(https://www.lib.ouita-u.ac.jp/lib_01/OAkyoryo.pdf)





⑥ オープンアクセスにすることのメリット

- ✓ 誰でも無料で論文を読めるようになる
- ✓ 論文を引用される可能性が高まる
- ✓ 研究成果を社会に還元できる
- ✓ 科研費実績報告書のオープンアクセス欄にチェックできる

⑥ 学術雑誌論文をオープンアクセスにする方法

リポジトリでオープンにする (Green Open Access) APCを払ってオープンにする (Gold Open Access)



大分大学学術情報拠点（図書館/医学図書）

⑥ 研究成果の提供からリポジトリの登録まで

① 研究成果の提供

- 登録申請フォーム (<https://forms.ale/5mAVEXJ11dNvY5S38>) 又は
- メールに公開可能な版（原則として著者最終稿）を送付し、学術情報課課員サービス係 (libserv@ouita-u.ac.jp) に送付






提供後に以下の情報が含まれない場合は、速やかに併せてお知らせください。
・掲載雑誌名・巻号 ・掲載論文等のDOI (デジタルオブジェクト識別子)
・その他特筆すべき事項

② 図書館で登録作業

- 著作権確認
出版社の許諾状況の確認を行います
- 索引語 (メタデータ) 付与
検索用に索引語 (メタデータ) を付与します。
・ Title ・ Keyword ・ Authors
・ Issue Date ・ Abstract など

- 著作権が著者にある場合
著者の承諾により公開可能です。共著者がいる場合は、その承諾をおとりください。
- 著作権が出版社にある場合
商業出版社発行分は、出版社側に著作権が帰属していることがほとんどです。この場合は出版社の許諾が得られたものも公開します。

③ 世界へ発信

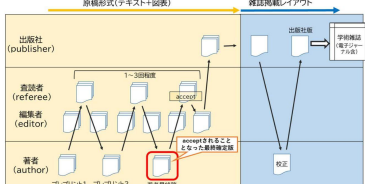
⑥ Q&A

大分大学オープンアクセス方針の対象者は誰ですか？
→ 大分大学の常勤の教員及び技術職員です。

誰がリポジトリに登録できますか？
→ 上記の方以外でも、大分大学に在籍する、又は在籍したことの教職員及び学生とその他、学術情報課課長が認めた方が登録することができます。

OUJRIに登録できる学術研究成果にはどんなものがありますか？
→ 大分大学の研究、教育活動により作成又は電子化された学術情報資源を登録することができます。具体的には、学術雑誌論文、要約論文、学位論文、テクニカルレポート、学会予稿集などが該当します。

著者最終稿とはどの原稿のことですか？
→ アクセプトされる直前に著者が提出した原稿を指します。
※accepted version / accepted manuscript / post print / peer-reviewed version 等



投稿から雑誌掲載までの論文の版実演(参考:北海道大学図書館制作資料)

令和4年(2022年)6月8日作成
令和6年(2024年)8月1日改訂

お問合せ：大分大学 学術情報課課員サービス係
TEL 097-554-7484 E-mail libserv@ouita-u.ac.jp

ご存知ですか？

公的資金による助成を受けた 研究成果論文の即時OA義務化

(2025年度新規公募分より)の基本方針が発表されました

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」 2024.2.16 内閣府統合イノベーション戦略推進会議

2024年10月

No.1 大阪大学

附属図書館学術情報整備課

第2位

義務化の対象は？

- ・対象の競争的研究費*を使用し、査読付きの電子ジャーナルに掲載された論文&Supplemental data

- *対象の研究費
- 2025年度以降、新規採択分
 - ・JSPS 科学研究費助成事業
 - ・JST 戦略的創造研究推進事業
 - ・AMED 戦略的創造研究推進事業
 - ・JST 創発的研究支援事業

オープンアクセス出版料を払ってOA化しなくてはならないの？

オープンアクセス化には主に2つの方法があります。



グリーンOA

機関リポジトリ・分野別リポジトリや個人HPなどで公開し、誰でも無料で本文にアクセスできるようにすること

*個人や研究室のHPは、OA義務化の公開元としては条件を満たさない可能性があります



ゴールドOA

出版社にOA料 (APC) を支払ってOA論文として出版すること

大学の経費支援事業があります！

機関リポジトリOUKAならラクに無料でOA

附属図書館がサポートします！



研究者

- ・リポジトリ登録支援システムで公開用ファイルをアップロード
- *システムで出版社の著作権ポリシー(公開可能論文バージョン等)を確認できます
- *登録依頼はメールでもお受けします



図書館担当者

- ・出版社の条件等を再確認、登録作業
- ・登録完了後、研究者にメールで通知



OUKA

- ・誰でも無料で閲覧可能
- ・論文情報は各種データベースと連携し、成果の可視化を促進



スムーズなグリーンOA化のため、論文がアクセプトされた時点で共著者の同意取得・著者最終稿 (Accepted Manuscript) の準備をおすすめします。



【機関リポジトリOUKAについての問合せ】
大阪大学附属図書館 学術情報整備課 電子コンテンツ課
TEL 06-6850-5071 (内線 番号5071・5819)
e-mail ouka@office.osaka-u.ac.jp



大阪大学のゴールドOA支援 (2024年度)

APC : Article Processing Charge (OA出版料) の免除・割引を受けられる場合があります！

【転換契約】

Springer Nature
Wiley
Elsevier

大阪大学は、Springer Nature・Elsevier・Wileyと転換契約を結んでいます。転換契約はジャーナル購読料とOA出版料がセットとなった契約です。

大阪大学構成員が責任著者(WileyにおいてはResponsible Corresponding Author)であり、一定の条件を満たせば、APCの全額または一部が免除されます。
*大阪大学へ、転換契約利用に係る自己負担金(無料・15万円)を後発費払うことで、出版社へのAPCが不要となり、通常のAPCより安価にOA化できる仕組みです。

Springer Nature

対象：Springer, Adis, Palgrave Macmillan, Academic journals on nature.comのハイブリッド誌
対象ジャーナルの一覧は、Springer Natureのサイト上のタイトルリストで確認できます。

注意：フルOA誌やNature関連誌は対象外



Springer Nature社
日本における転換契約
のパートナー企業です。

Elsevier

対象：Elsevier社サイトの転換契約対象ジャーナルリストの"Eligibility"列で"Quota"と表示されているジャーナルが、転換契約の対象となります。

注意：フルOA誌や一部のハイブリッド誌は対象外



Elsevier社
大阪大学転換契約の
パートナー企業

Wiley

対象：Wileyのハイブリッド誌およびフルOA誌
対象ジャーナルの一覧は、WileyのサイトのAPCリストで確認できます。

注意：フルOA誌の場合、2024年1月以降に掲載した論文が対象



Wiley社
Open Access Agreement
for authors at eligible
Japanese institutions

条件・申込方法は、マイハンドイ (学内限定) 「英語論文の投稿支援 (2024年度後期)」に掲載の募集要項、取扱説明書をご確認ください。

- 対象ジャーナルに投稿された場合、出版社ウェブサイトにて、責任著者の所属として大阪大学を選択し、転換契約によるオープンアクセスを希望、と選択してください。その上で、上記の本学募集要項に記載されたオンラインフォームからお申し込みください。



【転換契約によるAPC免除等、投稿支援事業の問合せ】
研究推進部 研究企画課 研究企画係
(チャットボット) <https://iamochat.io/>*****

QR

Cambridge University Press (CUP)
Rockefeller University Press (RUP)
Royal Society of Chemistry (RSC)

出版社との契約により、大阪大学構成員が責任著者であれば、APCが無料になります。
*対象期間・対象ジャーナル・年間の適用論文の上限などの条件は、出版社ごとに異なります。

対象期間・ジャーナル・利用条件・申し込み方法等の詳細は

図書館Webサイト「APC (オープンアクセス出版料) の免除・割引」をご覧ください。

ここに挙げていない出版社のAPC免除・割引情報も掲載しております。
附属図書館TOP>学術・研究支援>APC (オープンアクセス出版料) の免除・割引
<https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/apc/>



【APCの免除・割引の問合せ】
附属図書館 学術情報整備課
e-mail tosyoku-oa@ml.office.osaka-u.ac.jp

阪大_即時OA義務化に向けたOUKA登録・転換契約等のご案内
_202410.pptx

OAに関する大学の支援の認知向上のためのチラシ

受賞コメント：

“たくさんの方にいいねをいただきました。ありがとうございます”

まず義務化が始まることを目立たせて目を引きたいと考えました。その上で、グリーン、ゴールド二本立てでOA支援していることを伝えるという構成にしました。”

No.18 大分大学 学術情報拠点

18_OA加速化くん画像データ (大分大・匿名).pptx

オープンアクセス加速化
事業のキャラクターとして
グッズ作成など広報に使用

受賞コメント：

“この度は、ご投票いただき誠にありがとうございました。ございました。”

OA加速化くんが多くの方の目に留まり、とても嬉しいです。

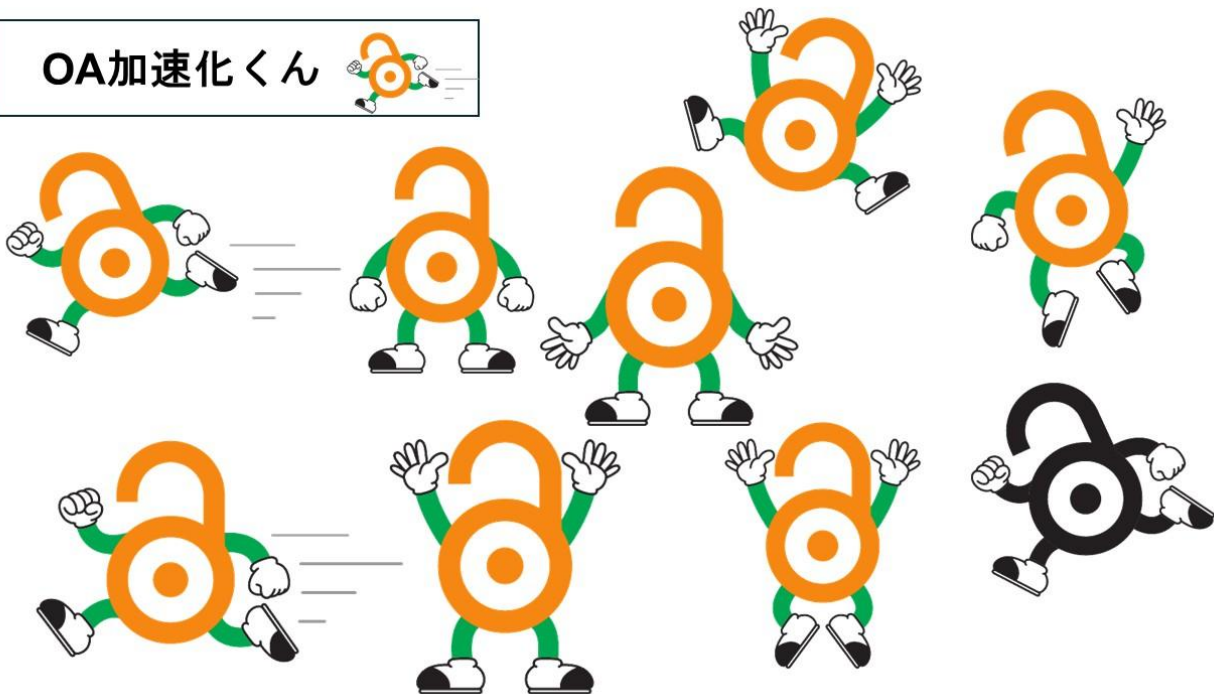
OA加速化くんは、大分大学がオープンアクセス加速化事業に採択されたことを機に誕生したイメージキャラクターです。

「研究成果を公開・共有してオープンアクセスを加速化しよう！」をスローガンに、パンフレットへの利用や懸垂幕やグッズの展開など、広報に活用しています。

CC0で提供されているオープンアクセスのロゴタイプを使用しており、OA加速化くんもCC0としていますので、機会がありましたらぜひ自由にご利用ください。

今回の受賞を励みに、今後も広報活動を頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。”

OA加速化くん



資料の利用について

公開期間:2025年3月末まで

公開場所:Gdriveフォルダ「JJ_OA広報素材作成祭り」

https://drive.google.com/drive/folders/1Un4MsWLN836Jc_D3SOSEng4UiKiFnoF6



利用条件:二次利用可・改変可

ただし、エントリーシート内で外部素材の利用とその規約について言及のある作品もございました。

その場合、規約の指示に従ってご利用ください。

例)No.29 女の子写真

エントリーシート

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1v1O2HGRJI5pUAIys9rXPnSgwnV7ADAnV/edit?usp=sharing&oid=110232055377487042362&rtpof=true&sd=true>



(ご紹介)

JUSTICEのOA素材集

JUSTICE > 会員館限定ページ >

オープンアクセス関連情報 > **会員館のOA啓発・説明資料**

<https://contents.nii.ac.jp/justice/staff/information/openaccess/oapr>



JUSTICE >

オープンアクセス関連情報 > **OA啓発・説明資料** **ウェブページ一覧**

<https://contents.nii.ac.jp/justice/documents#openaccess>



JUSTICE>

オープンアクセス関連情報>OA啓発・説明資料 ウェブページ一覧

<https://contents.nii.ac.jp/justice/documents#openaccess>



JUSTICE 大学図書館
コンソーシアム連合

ホーム / 参考情報

ユーザー名

パスワード

ログイン

ホーム

概要

組織

会員館一覧

規程類

参加申請

参考情報

お問い合わせ

参考情報

目次

- 各種統計
- 調査報告
- JUSTICE関連文庫
- 電子資料契約実務必携
- オープンアクセス関連情報
- 国立情報学研究所実務研修報告等
- 電子資料関連文庫
- 翻訳文庫

各種統計

◇大学図書館資料費の推移

文部科学省「学術情報基盤実態調査」を基に

- 1975-2021年(359.2 KB)
(xls) 2023.12.19更新

◇海外学術雑誌価格の推移

米国「Library Journal」誌に毎年掲載され

■転換契約に関するアンケート調査結果(2024年度・公開版)
JUSTICE会員館を対象として2024年に実施した調査の一部
ページに掲載しています。

■OA啓発・説明資料 ウェブページ一覧(16.22 KB)
JUSTICE 運営委員・作業部会委員所属の各大学でのOA啓発
定ページでは他の広報例

2024/8/6 OA推進作業部会

OA啓発・説明資料 ウェブページ一覧

JUSTICE 運営委員・作業部会委員所属の各大学のウェブページ広報例です。

※カテゴリはOA推進作業部会で付与。

APC支援…APC割引情報・助成情報について説明しているページ

リポジトリ…リポジトリへの登録について広報・説明しているページ

ハゲタカ…投稿誌選定の留意点について説明しているページ

国内外動向説明…2025年即時OA化を国内外の動向を説明しているページ

大学名	ページ名	URL	OA全 般	APC 支援	リポ ジト リ	ハゲ タカ	国内 外動 向説 明
筑波大学	筑波大学オープンアクセス方針	https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/service/repo-sitory-gag	○				
筑波大学	つくばリポジトリ (Tulips-R) とは	https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/service/repo-sitory-about			○		
筑波大学	オープンアクセス論文投稿料 (APC) の免除・割引情報	https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/service/apc		○			
千葉大学	研究成果をネットで公開する (オープン化)	https://alc.chiba-u.jp/entry/open-access.html	○		○	○	

▶ ログアウト

▶ 会員館トップ

▶ お知らせ

▶ はじめてのJUSTICEウェブサ
イト(コンテンツ案内)

▶ 会費関連資料

▶ 会議録

▶ 出版社提案書・協議結果

▶ JUSTICE実施調査

▶ 電子資料契約実務必携

▶ JUSTICE広報誌『jusmine』

▶ 電子資料契約見直し事例集

▶ 『電子ジャーナルに関する学内
向け説明資料:素材集』

▶ イベント案内

▶ その他会員向け情報

▶ オープンアクセス関連情報

JUSTICE > 会員館限定ページ >

オープンアクセス関連情報 > 会員館のOA啓発・説明資料

<https://contents.nii.ac.jp/justice/staff/information/openaccess/oapr>



オープンアクセス関連情報

- 会員館のOA啓発・説明資料
- 転換契約に関するアンケート調査

会員館のOA啓発・説明資料

目次

- 学内研究者／執行部向けのスライド資料
- チラシ類等の広報資料(テーマ別)
 - OA全般
 - APC支援
 - リポジトリ
 - ハゲタカジャーナル

学内研究者／執行部向けのスライド資料

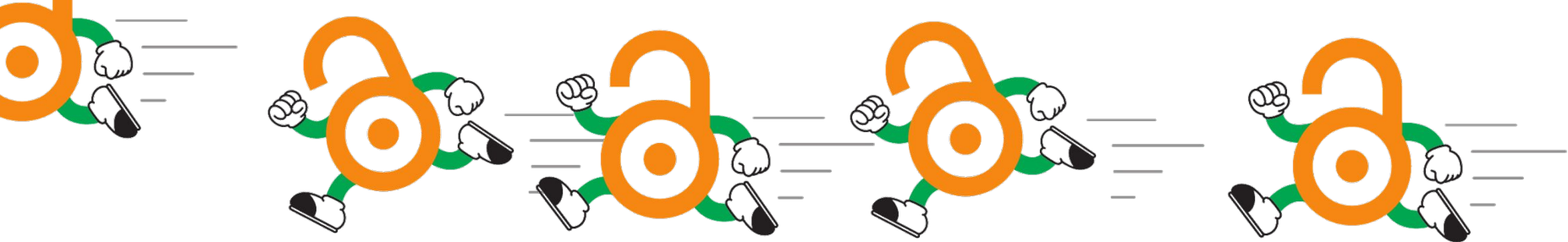
■ OA出版モデル転換契約説明会.pptx(604.01 KB)

- 大学名
九州大学
- 作成公開時期
2023年12月作成
- 対象
学内研究者
- 目的
転換契約の説明会での冒頭でオープンアクセスについて説明した資料

論文投稿で後悔しないために：学術出版のしくみを知る

まとめ & 閉会の挨拶

JUSTICE委員長



たくさんのご応募、ご投票あ
りがとうございました！

